

済生会御所病院 看護部教育制度

済生会御所病院 看護部教育理念

1. 病院理念と看護部教育理念および教育方針を基盤とした教育を行う。
2. 豊かな感性、高い倫理観、真の自律性を備え、高度な専門的知識・技術・判断に基づいた信頼される質の高い安全で確実な看護サービスを提供できる看護師を育成する。
3. 1 人の人間として成長し、自ら看護師としてのキャリアを開発し、幅広い理論を実践に統合し、自己実現できる専門職業人を目指す。

済生会御所病院 看護部教育方針

1. 高度な看護実践能力と役割を段階的に修得し、迅速かつ的確に判断し、主体的に行動できる看護職員を育成する。
 - ①当院看護職員は全員、クリニカルラダーレベル教育を受け、レベルを取得する。
 - ②クリニカルラダーレベル I および II は、院内教育プログラムに沿った教育に加え、自主的な院外研修への参加を支援する。
 - ③クリニカルラダーレベル III 以上は、院内外において自ら学ぶ機会を選択し、学習を重ねることを支援する。
 - ・管理室の指示により、済生会本部研修および日本看護協会・奈良県看護協会研修会への参加を支援する。
 - ・自ら希望する学会、研修会等の参加を支援する。
 - ④集合教育での学びが現場の看護実践に活かされるよう、連動できる体制づくりを行う。
2. 看護の倫理観に基づいた心豊かな人間性と社会性を備えた、地域に貢献できる看護職員を育成する。
 - ①患者さまの尊厳を尊重し、最善を尽くし、全人的医療と看護実践ができる看護職員を育成する。
 - ②地域の医療需要に応えられる医療体制を整え、地域住民の保健・医療・福祉の充実・向上のための役割と責務を果たす。
3. 主体的に学びを深め、自己のキャリア開発できる看護職員を育成する。
 - ①専門職業人として、自己目標を持ち、自己のキャリア開発ができる能力を有する看護職員を育成する。
 - ②院内外の学習資源を活用し、主体的に学びを深める看護職員を育成する。

済生会御所病院 看護部教育目的

1. 病院理念と看護部教育理念を理解し、全人的医療と看護実践ができる。
2. 看護の専門性を高めるために自己啓発と自己研鑽につとめ、自己実現が果たせる。

済生会御所病院 看護部教育目標

1. 社会人、医療人、専門職業人としてコミュニケーション能力および接遇能力を身に付け、患者・家族および医療・看護チーム内の人間関係を構築、調整する。
2. 基本的知識・技術の習得と共に、経験を積み重ねることで臨床判断力を磨き、質の高い安全で安心な看護サービスを提供する。
3. 看護提供を通じて、組織目標達成のための自己の役割任務を発揮し、マネジメント能力を養う。
4. 看護を客観的に捉え、論理的思考や科学的な裏づけに基づき分析し、研究的に取り組む姿勢を養う。
5. 看護職員個々の現状やニーズを把握し、あらゆる条件下で評価を行い、看護における教育・指導機能を果たす。
6. 看護職員個々が主体的に仕事の目的・目標を選択し、仕事とライフスタイルの調和や自分らしさを創る環境を提供する。

済生会御所病院 看護部教育概念

1. 済生会御所病院 看護教育概念

院内研修	クリニカルリーダー	スペシャリスト	看護管理者	院外研修
<ul style="list-style-type: none"> ◆管理・指導力向上のための研修 ～全体研修、リスク研修 	<p>レベルⅣ：達人 看護部門単位で活動できる 副看護部長 看護主任</p> <p>卓越した看護実践能力を有し、看護部門において組織的に広範囲な役割を遂行できる</p>	<p>病院単位で活動できる</p> <p>専門看護師 認定看護師 各資格者</p>	<p>病院単位で活動できる</p> <p>看護部長 副看護部長 看護師長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆済生会本部研修 ◆済生会近畿ブロック研修 ◆日本看護協会認定看護管理者教育課程
<ul style="list-style-type: none"> ◆看護専門能力向上のための研修 ◆教養力・指導力向上のための研修 ◆人間関係力向上のための研修 ～全体研修、学生指導、リスク研修 	<p>レベルⅢ：中堅 看護実践の役割モデル リーダーナース</p> <p>卓越した看護実践能力を有し、さらに看護部門において組織的に広範囲な役割を遂行できる</p>			<ul style="list-style-type: none"> ◆済生会本部研修 ◆済生会近畿ブロック研修 ◆日本看護協会認定看護師・専門看護師研修 ◆実習指導者研修
<ul style="list-style-type: none"> ◆看護実践力向上のための研修 ～全体研修、事例研究、学生指導 リスク研修 	<p>レベルⅡ：一人前 自律して看護活動ができる プライマリナース</p> <p>看護実践能力を有し、所属の臨床場面において的確な判断に伴う個別的な看護実践を一人前に実践できる</p>			<ul style="list-style-type: none"> ◆奈良県看護協会 レベル別研修
<ul style="list-style-type: none"> ◆部署間研修 ◆シミュレーション研修 ◆フォローアップ研修 ◆新人集合研修 ～全体研修、新人研修、看護理論 リスク研修、実地指導者研修 フリセプター研修 	<p>レベルⅠ・新人 指導や助言を得ながら看護活動ができる スタッフナース</p> <p>職場の指導や教育を受けながら、優先順位を設定し、看護基準・手順に沿って日常生活援助のための専門的知識、技術、態度を身につけ、看護実践を安全に確実に実施できる</p>			<ul style="list-style-type: none"> ◆奈良県看護協会 レベル別研修

2. 済生会御所病院 レベル編成

済生会看護職員教育指針に則り、平成28年度より臨床実践能力達成度を4段階とし、専門教育部門として管理者コースを設定する。なお、レベル編成は「ベナーの理論的枠組み」を参考にレベルを決定している。

レベル	役割	内容
管理	達人 病院単位で活動できる 看護部長、副看護部長、看護師長クラス 専門職：認定、専門、その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶卓越した看護実践能力を有し、さらに病院内・病院外において組織的に広範囲な役割を遂行できる
Ⅳ	達人 看護部門単位で活動できる 副看護部長、看護主任クラス	<ul style="list-style-type: none"> ▶卓越した看護実践能力を有し、さらに看護部門において組織的に広範囲な役割を遂行できる ▶あらゆる場面で主体的に判断ができ、看護実践および指導ができる ▶専門的知識・技術と判断力を持ち、倫理的態度を統合し、看護実践ができる
Ⅲ	中堅	▶優秀な看護実践能力有し、さらに所属において組織的な役割

	部署単位で活動できる 看護実践の役割モデル リーダーナース	を遂行できる ▶所属の臨床場面において、臨床の出来事を分析的に捉えることができる ▶患者の状態が変化する状況下において、疾患やライフワールドを捉えながら、分析し、看護実践することができる
Ⅱ	一人前 自律して看護活動ができる プライマーナース	▶看護実践能力を有し、所属の臨床場面において的確な判断に伴う個別的な看護実践を一人前に実践できる ▶指示待ちレベルから、自ら看護計画を立案、実施、問題解決、評価することができる ▶患者の状態変化を察知し、対応することができる ▶理論的知識と臨床場面においての情報の関連付けができる
Ⅰ 新人	新人、中途採用者(経験年数による) 指導や助言を得ながら看護活動ができる スタッフナース	▶職場の指導や教育を受けながら、看護基準・手順に沿って日常生活援助のための専門的知識、技術、態度を身につけ、看護実践を確実に実施できる ▶優先順位を設定し、所属の臨床場面において安全に看護実践ができる ▶臨床の場面において、担当患者の看護実践を通して、看護の知識・技術を深められる

平成 30 年度 済生会御所病院 看護部教育・研修システム【看護師】

済生会御所病院看護部がめざす「看護実践能力達成度教育」と「専門分野別教育」実現のため、年間計画を立案、教育研修を行う。さらに学研ナースサポート「eラーニングシステム」を導入、自己成長に役立てる。

◆看護実践能力達成度教育システム	有役職者が中心となり、臨床実践能力を到達別に計画し、個々の生活状況や学習状況に対応し、到達目標に向かって学び、自己成長できるよう教育プログラムを企画・運営する
◆専門分野別教育システム	有資格者(認定、専門等)が中心となり、看護の動向を見ながら、短年度において急務として、専門職業人として取り組むべき内容や希望に沿った教育プログラムを企画・運営する
◆学研ナースサポート「eラーニングシステム」	各自が時間・場所を選ばず学習できる体制を整えている ①院内研修では補うことができない内容を学習する ②院内研修に参加できないスタッフに学習の場を提供する ③院外研修に参加できないスタッフも院外講師の授業を受ける環境を提供する

1. 院内研修会における担当委員会とその担当研修内容一覧表

分類		担当委員会名	担当研修内容
院内研修	臨床実践能力別研修	師長会	看護管理者研修
		副看護師長会＋業務委員会	業務、看護理論、事例研究
		主任会＋記録委員会	記録、看護診断、看護必要度
		教育研修委員会	看護倫理、看護コミュニケーション、災害看護
		新人教育研修会	新人教育全般
		実習指導者研修会	今どきの学生指導のありかた
		リスクマネジメント委員会	リスク研修

専門分野別研修	認定看護師会	基礎研修、事例検討、看護研究
	◆感染管理認定看護師	
	◆皮膚・排泄ケア認定看護師	
	◆手術看護認定看護師	
	◆救急看護認定看護師	
	周術期管理チーム看護師	よりよい周術期看護
	ストーマ認定士	ストーママーキングとストーマ管理について
消化管内視鏡技師	消化管内視鏡の検査前・後の看護	
N S T 専門療法士	栄養と看護	
認知症チーム	事例検討	
中途採用者研修	看護管理室	プログラムに沿い、各委員会協力研修会開催
看護補助者研修	看護管理室	看護ケア内容の学習：eラーニングを用いて
院外研修	済生会本部研修、済生会近畿ブロック研修会、日本看護協会研修会・学会 奈良県看護協会研修会、各種研修会各種学会	

2. 院内研修について

臨床実践能力別研修会、専門分野別研修会に分類される。

① 臨床実践能力達成度教育

①-1 臨床実践能力の構成要素

◆看護実践能力	・患者の状態に応じた適切なサービスを提供するために、幅広い知識と正確な技術を統合し、実践する能力
◆マネジメント能力	・適切な看護サービスを提供するために、看護師に求められる役割や責任を果たす能力
◆教育・指導能力 ◆研究能力	・看護の質を保証し向上させるために、看護学生や看護師の個別ニーズに対応した指導ができる能力 ・患者のニーズや社会及び医療内容の変化に伴い、それに対応できる看護サービスの改善やシステム化に向け、論理的思考・問題解決思考を持ち、研究的に取り組む能力
◆人間関係調整能力	・患者・家族との信頼関係を保つために、コミュニケーション技術を高めるなどの人間関係を築く能力 ・医療チームと協調し、連携を図る能力

①-2 済生会御所病院 臨床実践能力達成度別到達目標

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ▶職場の指導や教育を受けながら、看護基準・手順に沿って日常生活援助のための専門的知識、技術、態度を身につけ、看護実践を確実に実施できる ▶優先順位を設定し、所属の臨床場面において安全に看護実践ができる ▶臨床場面において、担当患者の看護実践を通して、看護の知識・技術を深められる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶看護実践能力を有し、所属の臨床場面において的確な判断に伴う個別的な看護実践を一人前に実践できる ▶自ら看護計画を立案、実施、問題解決、評価することができる ▶患者の状態変化を察知し対応することができる ▶理論的知識と臨床場面においての情報の関連付けができる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶優秀な看護実践能力有しさらに所属において組織的な役割を遂行できる ▶所属の臨床場面において臨床の出来事を分析的に捉えることができる ▶患者の状態が変化する状況下において、疾患やライフワールドを捉えながら、分析し、看護実践することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶卓越した看護実践能力を有し、さらに看護部門において組織的に広範囲な役割を遂行できる ▶あらゆる場面で主体的に判断ができ、看護実践および指導ができる
	①基本的な知識・技術を身	①根拠に基づいて看護技術	①根拠に基づいて患者・家	①卓越した専門的知識と技

看護実践能力	<p>につける</p> <p>②安全で的確な看護ケアを実践できる</p> <p>③受け持ち患者の情報収集が手順に沿ってでき、助言を受けながら看護計画が立案できる</p> <p>④看護計画に沿って看護過程展開できる</p> <p>⑤看護記録基準を理解し、看護記録を書くことができる</p> <p>⑥緊急時は指示を受け、行動できる</p>	<p>を安全・的確に実践できる</p> <p>②患者の情報収集が適切にでき、適切な看護サービスが提供できる</p> <p>③必要な情報をチームに報告できる</p> <p>④看護診断・標準看護計画を理解し、正確に記録ができる</p> <p>⑤実施した看護の評価について記録できる</p> <p>⑥緊急時は指示を受け、速やかに行動できる</p>	<p>族の状況に応じて、看護実践できる</p> <p>②問題解決のため、理論に基づいた分析ができ、適切な看護サービスの提供と評価ができる</p> <p>③看護診断・標準看護計画を理解し、看護記録監査ができる</p> <p>④緊急事態において、速やかに対応、行動できる</p>	<p>術をもって看護実践できる</p> <p>②患者を取り巻く環境を理解し、他職種を巻き込んで回復に向けた看護計画の立案ができる</p> <p>③所属部署の看護記録監査を行い、看護の質の向上を図ることができる</p> <p>④緊急事態において、リーダーシップを発揮し、患者・家族への配慮ができる</p>
マネジメント能力	<p>①医療安全・感染予防策について、手順に沿って行動できる</p> <p>②チームメンバーの役割を理解し、行動できる</p> <p>③所部署の物品管理について、理解でき、行動できる</p> <p>④時間管理ができ、1日の行動計画が立案できる</p> <p>⑤守秘義務を遵守できる</p>	<p>①感染防止策を実施し、患者・家族に説明できる</p> <p>②医療安全マニュアルの根拠を理解し、行動できる</p> <p>③チーム活動を理解し、メンバーシップを発揮できる</p> <p>④自己の役割を理解し、責任を果たすことができる</p> <p>⑤看護業務に必要な物品を把握し、使用しやすいように整理整頓できる</p> <p>⑥患者の状態に合わせて適切かつタイムリーに看護実践できる</p> <p>⑦病院情報、患者情報は、院内規定に沿って行動できる</p>	<p>①感染防止策を実施し、他者に説明、指導ができる</p> <p>②医療安全マニュアルに沿った行動ができ、他者に説明、指導ができる</p> <p>③リーダー業務を理解し、自立して行動できる</p> <p>④チームの業務調整ができる</p> <p>⑤日常業務が円滑に進むよう、物品管理ができる</p> <p>⑥チーム全体をみて、業務調整ができる</p> <p>⑦他職種・他部門からも積極的に情報をとり、得られた情報の意味を理解し、行動できる</p>	<p>①組織の安全文化の醸成を推進する</p> <p>②所属部署のリスクマネージャーとして行動できる</p> <p>③所属部署の目標の立案実践、評価において積極的に関わる</p> <p>④チーム医療の推進に向け調整的役割を発揮する</p> <p>⑤医療器材の点検整備について、指揮・管理ができる</p> <p>⑥スタッフが時間内に業務が終わるよう、支援できる</p> <p>⑦病院経営に関心をもち、情報収集する</p> <p>⑧情報管理について、スタッフに指導できる</p>
教育・研究能力	<p>①自己の学習ニーズを明確にし、学習目標の設定ができる</p> <p>②院内教育プログラムに積極的に参加し、自己学習できる</p>	<p>①自己課題に対して、資源を活用し、積極的に取り組むことができる</p> <p>②院内・院外の研修プログラムに目標を持って参加できる</p> <p>③ケーススタディーをまとめ、発表できる</p> <p>④看護研究に参加できる</p>	<p>①自立的にキャリア開発プログラムを計画できる</p> <p>②専門領域の研修会や学会に参加できる</p> <p>③看護研究の意義・目的を理解し、研究のリーダーとして、推進することができる</p>	<p>①専門職業人として、自己のキャリア開発に積極的に取り組むことができる</p> <p>②配属部署の教育プログラムを企画・運営し、スタッフに学習の動機づけができる</p> <p>③看護研究に取り組み、院内・院外で発表し、研究内容を臨床で応用することができる</p>
	<p>①社会人として、基本的なマナーを身につける</p> <p>②患者・家族のよい関係</p>	<p>①済生会の組織人として自分の立場と役割を自覚し、行動できる</p>	<p>①他者の立場を理解し、尊重し、公平な立場で行動できる</p>	<p>①済生会の理念および済生会御所病院の理念に基づき、患者・家族と関</p>

人間関係能力	③患者の人権を尊重した行動ができる ④上司や先輩看護師の意見・考えを謙虚に受け止めることができる ⑤自分の意見を伝えることができる ⑥看護実践を通して、看護倫理について看護職員としての自覚と責任ある行動がわかる ⑦倫理的問題に気づき、相談できる	②患者・家族に対して、思いやりと共感の気持ちを持って接することができる ③患者・家族の人権を尊重した行動ができる ④スタッフの特性を理解し接することができる ⑤他職種の役割を理解し協力し合うことができる ⑥看護実践を通して、看護倫理について看護職員としての自覚と責任ある行動がとれる ⑦倫理的問題に気づき、問題提起できる	②患者・家族の問題を調整するために、他職種と積極的に情報交換が行える ③スタッフ間の調整役ができる ④スタッフの能力を判断し指導できる ⑤倫理的問題に気づき、対処できる ⑥倫理的意思決定の解決に向けて支援できる	②他部署および他職種との連携をとり、部署、患者、家族の問題を調整することができる ③スタッフの自律性や独自性を尊重し、支援できる ④倫理的問題を把握し、患者を取り巻く人々共に行動できる ⑤倫理的問題を把握し、スタッフが解決に向けた行動をするための支援ができる
--------	--	---	---	--

①-3. 済生会御所病院 臨床実践能力達成度別到達目標と研修内容

レベル I

- ▶職場の指導や教育を受けながら、看護基準・手順に沿って日常生活援助のための専門的知識、技術、態度を身につけ、看護実践を確実に実施できる
- ▶優先順位を設定し、所属の臨床場面において安全に看護実践ができる
- ▶臨床場面において、担当患者の看護実践を通して、看護の知識・技術を深められる

	到達目標	研修内容	教育方法	担当者
看護実践能力	①基本的な知識・技術を身につける ②安全で的確な看護ケアを実践できる ③受け持ち患者の情報収集が手順に沿ってでき、助言を受けながら看護計画が立案できる ④看護計画に沿って看護過程展開できる ⑤看護記録基準を理解し、看護記録を書くことができる ⑥緊急時は指示を受け、行動できる	看護基礎技術演習 看護記録について 看護診断：基礎 看護理念について 看護必要度研修 救急看護：基礎	入職時集合研修 講義 シミュレーション 集合研修 eラーニング 配属部署でのOJT	新人教育担当者委員会 副師長会 主任会 教育研修委員会 皮膚排泄ケア認定看護師 救急看護認定看護師 手術看護認定看護師 教育担当者
マネジメント能力	①医療安全・感染予防策について、手順に沿って行動できる ②チームメンバーの役割を理解し、行動できる ③所部署の物品管理について、理解でき、行動できる ④時間管理ができ、1日の行動計画が立案できる ⑤守秘義務を遵守できる	管理的側面 医療安全 インシデントレポート 感染対策 リスクマネジメント	集合研修 配属部署でのOJT eラーニング DVD	感染管理認定看護師 リスクマネジメント委員会 教育担当者
教育・研究	①自己の学習ニーズを明確にし、学習目標の設定ができる ②院内教育プログラムに積極的に参加し、自己学習できる	教育理念、システム 生涯教育について 看護専門職について 看護研究発表会参加	集合研修 eラーニング	看護部長 各部署長 教育担当者

人間関係能力	①社会人として基本的なマナーを身につける ②患者・家族のよい関係を持つことができる ③患者の人権を尊重した行動ができる ④上司や先輩看護師の意見・考えを謙虚に受け止めることができる ⑤自分の意見を伝えることができる ⑥看護実践を通して、看護倫理について看護職員としての自覚と責任ある行動がわかる ⑦倫理的問題に気づき、相談できる	済生会の歴史 社会人規範 接遇研修 看護コミュニケーション 看護倫理	集合研修 eラーニング DVD	事務部長 教育研修委員会 教育担当者
--------	--	--	-----------------------	--------------------------

レベルⅡ

- ▶看護実践能力を有し、所属の臨床場面において的確な判断に伴う個別的な看護実践を一人前に実践できる
- ▶自ら看護計画を立案、実施、問題解決、評価することができる
- ▶患者の状態変化を察知し対応することができる
- ▶理論的知識と臨床場面においての情報の関連付けができる

	到達目標	研修内容	教育方法	担当者
看護実践能力	①根拠に基づいて看護技術を安全・的確に実践できる ②患者の情報収集が適切にでき、適切な看護サービスが提供できる ③必要な情報をチームに報告できる ④看護診断・標準看護計画を理解し、正確に記録ができる ⑤実施した看護の評価について記録できる ⑥緊急時は指示を受け、速やかに行動できる	看護診断 看護理論 看護必要度研修 救急看護 認知症看護 皮膚排泄ケア 内視鏡看護 周術期看護 NST	集合研修 講義と事例検討 eラーニング シミュレーション	副師長会、主任会 教育研修委員会 皮膚排泄ケア認定看護師 救急看護認定看護師 手術看護認定看護師 周術期管理チーム看護師 ストーマ認定士 内視鏡技師 NST 専門療法士 認知症チーム 等
マネジメント能力	①感染防止策を実施し、患者・家族に説明できる ②医療安全マニュアルの根拠を理解し、行動できる ③チーム活動を理解し、メンバーシップを発揮できる ④自己の役割を理解し、責任を果たすことができる ⑤看護業務に必要な物品を把握し、使用しやすいように整理整頓できる ⑥患者の状態に合わせて適切かつタイムリーに看護実践できる ⑦病院情報、患者情報について、院内規定に沿って行動できる	感染対策 医療安全 リスクマネジメント ストレスマネジメント	集合研修 eラーニング	感染管理認定看護師 リスクマネジメント委員会 教育担当者
教育・研究	①自己課題に対して、資源を活用し、積極的に取り組むことができる ②院内・院外の研修プログラムに目標を持って参加できる ③ケーススタディーをまとめ、発表できる ④看護研究に参加できる	実地指導者研修 事例研究 院外研修参加 看護研究の協力	集合研修 院外研修参加後のレポート提出 院内看護研究発表会に参加	認定看護師会 副師長会 新人教育担当者委員会 教育担当者

人間関係能力	① 済生会の組織人として自分の立場と役割を自覚し、行動できる ② 患者・家族に対して、思いやりと共感の気持ちを持って接することができる ③ 患者・家族の人権を尊重した行動ができる ④ スタッフの特性を理解し接することができる ⑤ 他職種の役割を理解し協力し合うことができる ⑥ 看護実践を通して、看護倫理について看護職員としての自覚と責任ある行動がとれる ⑦ 倫理的問題に気づき、問題提起できる	済生会の歴史・役割 接遇研修 看護コミュニケーション 医療倫理 看護倫理	集合研修 eラーニング DVD 事例検討	教育研修委員会 教育担当者
--------	---	--	-------------------------------	------------------

レベルⅢ				
▶ 優秀な看護実践能力有しさらに所属において組織的な役割を遂行できる				
▶ 所属の臨床場面において臨床の出来事を分析的に捉えることができる				
▶ 患者の状態が変化する状況下において、疾患やライフワールドを捉えながら、分析し、看護実践することができる				
	到達目標	研修内容	教育方法	担当者
看護実践能力	① 根拠に基づいて患者・家族の状況に応じて、看護実践できる ② 問題解決のため、理論に基づいた分析ができ、適切な看護サービスの提供と評価ができる ③ 看護診断・標準看護計画を理解し、看護記録監査ができる ④ 緊急事態において、速やかに対応、行動できる	看護診断 看護必要度 認知症看護 皮膚排泄ケア 救急看護 災害看護 周術期看護 内視鏡看護 NST	集合研修 講義と事例検討 eラーニング シミュレーション	副師長会、主任会 教育研修委員会 皮膚排泄ケア認定看護師 救急看護認定看護師 手術看護認定看護師 周術期管理チーム看護師 ストーマ認定士 内視鏡技師 NST 専門療法士 認知症チーム 等
マネジメント能力	① 感染防止策を実施し、他者に説明、指導ができる ② 医療安全マニュアルに沿った行動ができ、他者に説明、指導ができる ③ リーダー業務を理解し、自立して行動できる ④ チームの業務調整ができる ⑤ 日常業務が円滑に進むよう、物品管理ができる ⑥ チーム全体をみて、業務調整ができる ⑦ 他職種・他部門からも積極的に情報をとり、得られた情報の意味を理解し、行動できる	感染対策 医療安全 リスクマネジメント ストレスマネジメント リーダー論	集合研修 講義と事例検討 eラーニング	感染管理認定看護師 リスクマネジメント委員会 教育担当者
教育・研究	① 自立的にキャリア開発プログラムを計画できる ② 専門領域の研修会や学会に参加できる ③ 看護研究の意義・目的を理解し、研究のリーダーとして、推進することができる	看護研究 看護系学会へ参加	集合研修 eラーニング	認定看護師会 副師長会 新人教育担当者委員会 教育担当者
人間関係	① 他者の立場を理解し、尊重し、公平な立場で行動できる ② 患者・家族の問題を調整するために、他職種と	済生会の役割・使命 中堅看護師の役割 医療倫理	集合研修 eラーニング DVD	教育研修委員会 教育担当者

関係能力	積極的に情報交換が行える ③スタッフ間の調整役ができる ④スタッフの能力を判断し指導できる ⑤倫理的問題に気づき、対処できる ⑥倫理的意決定の解決に向けて支援できる	看護倫理	事例検討	
------	--	------	------	--

レベルⅣ

▶卓越した看護実践能力を有し、さらに看護部門において組織的に広範囲な役割を遂行できる

▶あらゆる場面で主体的に判断ができ、看護実践および指導ができる

	到達目標	研修内容	教育方法	担当者
看護実践能力	①卓越した専門的知識と技術をもって看護実践できる ②患者を取り巻く環境を理解し、他職種を巻き込んで回復に向けた看護計画の立案ができる ③所属部署の看護記録監査を行い、看護の質の向上を図ることができる ④緊急事態において、リーダーシップを発揮し、患者・家族への配慮ができる	看護診断 看護必要度 認知症看護 皮膚排泄ケア 救急看護 災害看護 周術期看護 内視鏡看護 NST	集合研修 講義と事例検討 eラーニング シミュレーション	副師長会、主任会 教育研修委員会 皮膚排泄ケア認定看護師 救急看護認定看護師 手術看護認定看護師 周術期管理チーム看護師 ストーマ認定士 内視鏡技師 NST 専門療法士 認知症チーム 等
マネジメント能力	①組織の安全文化の醸成を推進する ②所属部署のリスクマネージャーとして行動できる ③所属部署の目標の立案実践、評価において積極的に関わる ④チーム医療の推進に向け調整的役割を発揮する ⑤医療器材の点検整備について、指揮・管理ができる ⑥スタッフが時間内に業務が終わるよう、支援できる ⑦病院経営に関心を持ち、情報収集する ⑧情報管理について、スタッフに指導できる	感染対策 医療安全 リスクマネジメント 看護制度 労務管理 ベッドコントロール 個人情報 ストレスマネジメント	集合研修 eラーニング	感染管理認定看護師 リスクマネジメント委員会 教育担当者
教育・研究	①専門職業人として、自己のキャリア開発に積極的に取り組むことができる ②配属部署の教育プログラムを企画・運営し、スタッフに学習の動機づけができる ③看護研究に取り組み、院内・院外で発表し、研究内容を臨床で応用することができる	目標管理 人材育成 院外研究に取り組む	集合研修 eラーニング	教育担当者 看護師長 看護管理室
人間関係能力	①済生会の理念および済生会御所病院の理念に基づき、患者・家族と関ることができる ②他部署および他職種との連携をとり、部署、患者、家族の問題を調整することができる ③スタッフの自律性や独自性を尊重し、支援できる ④倫理的問題を把握し、患者を取り巻く人々と共に行動できる ⑤倫理的問題を把握し、スタッフが解決に向けた行動をするための支援ができる	済生会の役割・使命 看護倫理 職場適応支援	集合研修 eラーニング DVD 事例検討	教育研修委員会 教育担当者

① -4.臨床実践能力達成度別教育システム 年間計画

▶看護記録・看護診断・看護必要度：主任会

全 体	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
	4月17日(火)	16:45~17:45 1.0H	看護記録①	ウチの病院ならこれでOK! 効果的な看護記録をつけるコツ 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	主任会
	6月12日(火)	16:45~17:45 1.0H	看護記録②	根拠となる看護記録の書き方 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	主任会
	8月10日(金)	16:45~17:45 1.0H	看護必要度 ①	重症度・看護必要度とは何か 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	主任会
	9月7日(金)	16:45~17:45 1.0H	看護必要度 ②	◆ここが変わった看護必要度のポイント ◆チェック動画×テスト 学研メディカルサポート 視聴 55分	第3会議室	主任会
	10月9日(火) 10月12日(金)	13:00~14:00 1.0H	看護必要度 ③	評価方法と記載方法	第3会議室	主任会
	11月20日(火) 11月22日(金)	13:00~14:00 1.0H	看護診断	・事例を用いて計画立案と評価	第3会議室	主任会

▶接遇、看護倫理、看護コミュニケーション、災害看護：教育研修委員会

全 体	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
	4月10日(火) 4月13日(金)	13:30~14:00 14:00~14:30 0.5H	接遇①	施設のホスピタリティ ～医療人として欠かせない接遇～ 学研メディカルサポート 30分+テスト	第3会議室	教育研修 委員会
	5月8日(火) 5月11日(金)	13:30~14:00 14:00~14:30 0.5H	接遇②	医療現場でのクレーム対応〇と× ～やっていいこと、悪いこと～ 学研メディカルサポート 30分+テスト	第3会議室	教育研修 委員会
	6月14日(木)	16:45~17:45 1.0H	災害看護① ：基礎	災害にそなえる ～災害発生時、医療施設と 従事者が行うべきこと～ 学研メディカルサポート 50分+テスト	第3会議室	教育研修 委員会
	7月17日(火) 7月20日(金)	13:00~14:00 14:00~15:00 1.0H	看護倫理 ①：基礎	医療施設で働く人のために必要な倫理 学研メディカルサポート 50分+テスト	第3会議室	教育研修 委員会
	8月14日(火) 8月17日(金)	13:00~13:30 13:30~14:00 0.5H	看護倫理 ②：応用	・事例を通して倫理原則、問題 点を考える	第3会議室	教育研修 委員会
	9月18日(火) 9月21日(金)	13:00~13:30 13:30~14:00 1.0H	看護コミュニケーションの種類 ①	・言語的・非言語的コミュニケーションとは ・コミュニケーションに必要なスキル	第3会議室	教育研修 委員会
	10月23日(火) 10月26日(金)	13:00~13:30 13:30~14:00 0.5H	看護コミュニケーションの方法 と実際②	・効果的なコミュニケーション ・伝えるとは ・聴く力とは	第3会議室	教育研修 委員会
	11月22日(木)	16:45~17:45 1.0H	災害看護② ：机上訓練	・実際の病棟例をあげて チームで机上訓練	第3会議室	救急看護 認定看護師

						永井由紀
	12月13日(木)	16:45~17:45 1.0H	災害看護③ : 実地訓練	・机上訓練の内容をもとに 実地訓練	西2階病棟	救急看護 認定看護師 永井由紀
	1月24日(木)	16:45~17:45 1.0H	看護コミュニケーションの方法 と実際③	新人 & 後輩看護師の学びを助 けるコミュニケーションの極意 学研メディカルサポート 50分+テスト	第3会議室	教育研修 委員会

▶看護理論：副看護師長会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
I	6月8日(金)	16:45~17:45 1.0H	看護理論①	・看護理論とは ・看護理論と看護過程 ・ナイチンゲール理論	第3会議室	副師長会
	8月9日(木)	16:45~17:45 1.0H	看護理論②	・「心に効く」の抄読会 ～ナイチンゲールの知識を深める～	第3会議室	副師長会
	11月8日(木)	16:45~17:45 1.0H	看護理論③	・ナイチンゲール理論を用いて 事例展開の方法を学ぶ	第3会議室	副師長会
	1月11日(金)	16:45~17:45 1.0H	看護理論④	・自部署の症例を事例展開できる	第3会議室	副師長会

▶新人教育：新人教育研修会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
II ・ III	8月31日(金)	16:45~17:45 1.0H	Off-JT	反復学習で学びがグッと身近になる～効果絶大の off-JT～ 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	新人教育担 当者研修会
	10月5日(金)	16:45~17:45 1.0H	リフレクション	看護実践に活かす！リフレクション 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	新人教育担 当者研修会
	3月8日(金)	16:45~17:45 1.0H	プリセプター	・プリセプターとは ・プリセプターの役割	第3会議室	新人教育担 当者研修会

▶医療機器の取扱い

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
新人 ・ 希望者	4月21日(土)	8:30~11:20 3.0H	医療機器の 取扱い①	・輸液ポンプの取扱いと管理 ・シリンジポンプの取扱いと管理 ・心電図モニタの取扱いと管理	第3会議室	臨床 工学技士
		11:30~12:30 1.0H	医療機器の 取扱い②	アラームが鳴ったらこうする！ 輸液ポンプ・シリンジポンプの 取扱い方 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	教育担当 副看護部長
	5月19日(土)	8:30~9:30 1.0H	医療機器の 取扱い③	ここからスタート！ 心電図モニタとのつきあい方 学研メディカルサポート 視聴 43分	第3会議室	教育担当 副看護部長
	6月16日(土)	8:30~11:20 3.0H	医療機器の 取扱い④	・人工呼吸器の取扱いと管理 ・DCの取扱いと管理	第3会議室	臨床工学士
		11:30~12:30 1.0H	医療機器の 取扱い⑤	人工呼吸器のファーストタッチ 看護のポイントとアラーム対応	第3会議室	教育担当 副看護部長

				学研メディカルサポート 視聴 50分		
--	--	--	--	--------------------	--	--

▶静脈注射に関する継続看護

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
新人・希望者	4月6日(金)	11:00~12:00 0.9H	静脈注射に関する継続看護①	「解剖生理学」と「エビデンス」から採血を学ぶ～動画で学ぼう～ 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	4月6日(金)	15:10~16:00 0.9H	静脈注射に関する継続看護②	末梢静脈カテーテルの留置と管理“超入門” 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	5月19日(土)	10:00~11:00 1.0H	静脈注射に関する継続看護③	・処方箋の取扱い ・院内の薬剤について ・劇薬・毒薬・抗がん剤の取扱い	第3会議室	院内薬剤師
	7月21日(土)	9:40~10:30 1.0H	静脈注射に関する継続看護④	・麻薬の取扱いと管理 ・向精神薬の取扱いと管理	第3会議室	院内薬剤師
		10:35~11:35 1.0H	静脈注射に関する継続看護⑤	よくある誤薬を防ぐ手順とハイリスク薬の与薬時の注意点 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	8月3日(金)	13:00~13:30 0.5H	静脈注射に関する継続看護⑥	与薬を安全に実施するために : DVD	第3会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	11月1日(木)	13:00~13:30 0.5H	静脈注射に関する継続看護⑦	輸液トラブルの対処法	第3会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	12月28日(金)	13:00~13:30 0.5H	静脈注射に関する継続看護⑧	輸血を安全に実施するために : DVD	第3会議室	救急看護認定看護師 永井由紀

▶フィジカルアセスメント研修

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
新人・I・II	4月27日(金)	16:45~17:45 1.0H	フィジカルアセスメント①	呼吸器系のフィジカルアセスメント 学研メディカルサポート 47分	第3会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	7月27日(金)	16:45~17:45 1.0H	フィジカルアセスメント②	フィジカルアセスメント : 基礎編	第3会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	10月11日(木)	16:45~17:45 1.0H	フィジカルアセスメント③	フィジカルアセスメント : 実践編	第3会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	11月30日(金)	16:45~17:45 1.0H	フィジカルアセスメント④	臨床推論～ベッドサイドでどう進めるか～ 学研メディカルサポート 50分	第3会議室	救急看護認定看護師 永井由紀

▶リスクマネジメント研修：リスクマネジメント委員会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
I	7月27日(金)	13:00~13:30 0.5H	リスクマネジメント研修 : レベル I 対象	・リスクマネジメントについて ・事例を用いたの検討会	第3会議室	リスクマネジメント研修会
II	8月21日(火)	13:00~13:30	リスクマネジメント研修	・事例を用いたの検討会	第3	リスクマネジメント

	8月24日(金)	0.5H	:レベルⅡ対象		会議室	ト研修会
Ⅲ	10月2日(火)	13:00~13:30	リスクマネジメント研修	・事例を用いたの検討会	第3 会議室	リスクマネジメン ト研修会
	10月5日(金)	0.5H	:レベルⅢ対象			
Ⅳ	12月4日(火)	13:00~13:30	リスクマネジメント研修	・事例を用いたの検討会	第3 会議室	リスクマネジメン ト研修会
	12月7日(金)	0.5H	:レベルⅣ対象			

▶事例研究：副看護師長会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
Ⅱ	5月11日(金)	16:45~17:45 1.0H	事例研究 ❶	・院内発表につながる気づき 学研メディカルサポート 28分視聴 ・当院看護研究ガイドラインに 沿った事例研究の書き方	第3 会議室	副師長会
	6月5日(火)	16:45~17:45 1.0H	事例研究 ❷	より良い看護ケアのためのケース スタディ ～実践につながる研究とは～ 学研メディカルサポート 27分視聴	第3 会議室	副師長会
	11月15日 (木)	16:45~17:45 1.0H	事例研究 ❸	発表で気をつけること、おさえるポイント ～次の看護研究につながるために～ 学研メディカルサポート 31分視聴	第3 会議室	副師長会
	1月19日(土)	9:00~11:00 2.0H	事例研究 発表会	・自己の事例研究内容を発表	第3 会議室	副師長会

▶学生指導・教育：実習指導者研修会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
Ⅱ ・ Ⅲ	7月13日(金)	16:45~17:45 1.0H	学生指導	・今どきの学生の特徴 ・具体例をあげての学生指導の ありかた	第3会議室	実習指導者 研修会
	1月17日(木)	16:45~17:45 1.0H	実地指導者	・実地指導者とは ・実地指導者の役割	第3会議室	実習指導者 研修会

▶看護管理：看護管理コース

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
Ⅲ 以上	4月13日(金)	16:45~17:45 1.0H	看護管理 ❶	医療職に必要な「社会人基礎力」の 育て方 学研メディカルサポート 50分視聴+	第3 会議室	教育担当 副看護部長
Ⅳ 以上	5月31日(木)	16:45~17:45 1.0H	看護管理 ❷	労務トラブルを未然に防ぐ！ 労働環境の現状と採用時の雇用管理 学研メディカルサポート 50分視聴+	第3 会議室	教育担当 副看護部長
Ⅲ 以上	9月14日(金)	16:45~17:45 1.0H	看護管理 ❸	師長必見！病棟運営が変わる5つの 要素 学研メディカルサポート 50分視聴+	第3 会議室	教育担当 副看護部長
師 長	8月30日(木) 師長会	15:00~16:00 1.0H	看護管理 ❹	倫理的な看護実践における看護管理 者の役割と責任 学研メディカルサポート 50分視聴+	第3 会議室	教育担当 副看護部長
Ⅳ 以上	11月29日 (木)	16:45~17:45 1.0H	看護管理 ❺	医療・看護の質と評価 ～看護管理者が取り組む測定と改善方法～ 学研メディカルサポート 50分視聴+	第3 会議室	教育担当 副看護部長

Ⅲ 以上	12月14日 (金)	16:45~17:45 1.0H	看護管理 ⑥	次世代の病棟管理者の育成！ ～管理者としてのマネジメントスキルを身につける～ 学研メディカルサポート 50分視聴+	第3 会議室	教育担当 副看護部長
---------	---------------	---------------------	-----------	---	-----------	---------------

▶看護管理者研修：看護師長会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
管理	毎月師長会 開催日	13:30~14:00 0.5H	看護管理	「済生会テキスト」を用いて、組織人としての あり方を学び、スタッフ教育に活かす	第3 会議室	看護部長

②専門分野別教育システム 年間計画

▶事例検討、臨床推論：認定看護師会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
Ⅲ 以上	7月10日(火) 7月12日(木)	13:00~13:30 0.5H	皮膚排泄ケア①	皮膚排泄ケアの実際	第3 会議室	皮膚排泄ケア認定看護師 前川和世
	7月24日(火) 7月26日(木)	13:00~13:30 0.5H	皮膚排泄ケア②	皮膚排泄ケアと事例検討	第3 会議室	皮膚排泄ケア認定看護師 前川和世
	8月7日(火) 8月9日(木)	13:00~13:30 0.5H	手術看護①	手術看護の実際	第3 会議室	手術看護認定看護師 原田和典
	8月28日(火) 8月30日(木)	13:00~13:30 0.5H	手術看護②	手術看護と事例検討	第3 会議室	手術看護認定看護師 原田和典
	9月4日(火) 9月6日(木)	13:00~13:30 0.5H	救急看護①	救急看護の実際	第3 会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	9月25日(火) 9月27日(木)	13:00~13:30 0.5H	救急看護②	救急看護と事例検討	第3 会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	11月6日(火) 11月8日(木)	13:00~13:30 0.5H	感染管理①	感染管理の実際	第3 会議室	感染管理認定看護師 飯田賢人
	11月27日(火) 11月29日(木)	13:00~13:30 0.5H	感染管理②	感染管理と事例検討	第3 会議室	感染管理認定看護師 飯田賢人

▶看護研究：認定看護師会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
Ⅲ	5月8日(火)	16:45~17:45 1.0H	看護研究①	・看護研究とは ～看護研究ガイドライン をもとに～ ・eラーニングの紹介	第3会議室	認定看護師会
	6月中、詳細は後日連絡		看護研究②	コンサルテーション：計画	第2会議室	認定看護師会
	7月中、詳細は後日連絡		看護研究③	コンサルテーション：中間	第2会議室	認定看護師会
	10月16日(火)	16:45~17:45 1.0H	看護研究④	・データのまとめ方 ・論文の構成 ・eラーニングの紹介	第3会議室	認定看護師会
	11月中、詳細は後日連絡		看護研究⑤	コンサルテーション：まとめ	第2会議室	認定看護師会
	2月2日(土) または16日(土)	9:00~12:00	看護研究⑥	看護研究発表会	第3会議室	認定看護師会

▶周術期看護：周術期管理チーム看護師

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
	8月3日	16:45~17:45	消化器疾患	早期退院に向けた消化器疾患の	第3	周術期管理チーム看護師

全 体	(金)	1.0H	の周術期管理	周術期管理 学研メディカルサポート 50分視聴	会議室	保田真由美、梅田桃志美 永井由紀
	9月13日 (木)	16:45~17:45 1.0H	よりよい周術期を過ごすために	・周術期とは ・周術期看護のありかた、実際	第3 会議室	周術期管理チーム看護師 保田真由美、梅田桃志美 永井由紀
	10月25日 (木)	16:45~17:45 1.0H	手術看護	高齢者に対する整形外科手術の管理のポイント ~変形性股関節症と人工股関節置換術の看護ケア~ 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3 会議室	周術期管理チーム看護師 保田真由美、梅田桃志美 永井由紀

▶ストーママーキングとストーマ管理：ストーマ認定士

全 体	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
	12月7日 (金)	16:45~17:45 1.0H	ストーママーキングとストーマ管理	・ストーママーキングの実際 ・ストーマ管理の実際	第3 会議室	ストーマ認定士 梅田桃志美

▶消化管内視鏡看護：消化管内視鏡技師

全 体	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
	8月24日 (金)	16:45~17:45 1.0H	消化管内視鏡検査と検査前後の看護	・消化管内視鏡検査とは ・消化管内視鏡検査前後の看護	第3 会議室	消化管内視鏡技師 谷郷恵美

▶栄養と看護：NST 専門療法士

全 体	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
	6月1日 (金)	16:45~17:45 1.0H	食べることの意義	食べることは生きること ~歯科医と一緒に口腔ケア~ 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3 会議室	NST 専門療法士 看護師 永井由紀
	7月31日 (火)	16:45~17:45 1.0H	栄養と看護	・栄養管理のありかた ・NST 専門療法士としての介入の実際 ~NST 介入症例を用いて~	第3 会議室	NST 専門療法士 看護師 竹川みゆき
	11月27日 (火)	16:45~17:45 1.0H	栄養とリハビリ	廃用症候群、サルコペニア、フレイルへの対応 ~患者さんの人生を左右する看護師にできるアプローチ~ 学研メディカルサポート 視聴 51分	第3 会議室	NST 専門療法士 看護師 永井由紀

▶認知症：認知症チーム

全 体	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
	7月17日 (火)	16:45~17:45 1.0H	認知症①	認知症の原因疾患と病態・治療 【医学編】学研メディカルサポート 30分	第3 会議室	認知症ケア 委員会
	8月14日 (火)	16:45~17:45 1.0H	認知症②	認知症の行動・心理症状、せん妄の予防と対応 【医学編】学研メディカルサポート 30分	第3 会議室	認知症ケア 委員会
	9月18日 (火)	16:45~17:45 1.0H	認知症③	入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術 【看護編】学研メディカルサポート 30分	第3 会議室	認知症ケア 委員会
	10月30日 (火)	16:45~17:45 1.0H	認知症④	認知症患者に対するコミュニケーション方法および療養環境の調整方法 【看護編】学研メディカルサポート 30分	第3 会議室	認知症ケア 委員会

	11月9日 (金)	16:45~17:45 1.0H	認知症⑤	認知症に特有な倫理的課題と 意思決定支援 【倫理編】学研メディカルサポート 30分	第3 会議室	認知症ケア 委員会
	12月20日 (木)	16:45~17:45 1.0H	認知症患者の看護を理解する⑥	・認知症患者症例をもとに事例検討 ・意見交換	第3 会議室	認知症ケア 委員会

▶地域連携、退院支援：退院支援 NS 委員会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
全 体	4月24日 (火)	16:45~17:45 1.0H	連携	病院、施設、在宅の連携を強化する ～外来看護師の役割を含めて～ 学研メディカルサポート 視聴 47分	第3 会議室	退院支援 NS 委員会
	5月1日 (火)	16:45~17:45 1.0H	介護保険	看護に役立つ介護保険制度 学研メディカルサポート 視聴 41分	第3 会議室	退院支援 NS 委員会
	9月28日 (金)	16:45~17:45 1.0H	カンファレンス	多職種連携の視点を獲得する ケースカンファレンスのもち方 学研メディカルサポート 視聴 48分	第3 会議室	退院支援 NS 委員会

▶感染対策

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
全 体	5月15日 (火)	16:45~17:45 1.0H	感染対策 ①	ノロウイルス対策 ～発生から対応まで～ 学研メディカルサポート 視聴 30分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	11月2日 (金)	16:45~17:45 1.0H	感染対策 ②	インフルエンザ対策 ～流行期に押さえておきたいポイント～ 学研メディカルサポート 視聴 30分	第3 会議室	教育担当 副看護部長

▶メンタルマネジメント

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
全 体	7月24日 (火)	16:45~17:45 1.0H	メンタルマネジメント	医療職に必要なメンタルマネジメント ～心のサイン・ストレスに気づくために～ 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3 会議室	教育担当 副看護部長

▶診療報酬

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
全 体	5月22日 (火)	16:45~17:45 1.0H	診療報酬 ①	ここが変わった診療報酬 ～病院全体にかかわる項目をいち早く紹介～ 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	5月25日 (金)	16:45~17:45 1.0H	診療報酬 ②	看護職が知っておくべき診療報酬改定の ポイント 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	5月29日 (火)	16:45~17:45 1.0H	診療報酬 ③	看護にかかわる診療報酬 ～介護報酬とのダブル改定で何が変わったのか～ 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3 会議室	教育担当 副看護部長

3. 院外研修について

病院職員として済生会本部・支部研修への参加、日本看護協会や奈良県看護協会主催の研修会への参加、他学会・研修会への参加を支援する。

平成 30 年度 済生会御所病院 中途採用看護師研修 中途採用看護師スポンサーシップ

中途採用看護師がなるべく早く各部署に慣れ、最大限の能力が発揮できるように、一人の中途採用者に対し、数名の看護師が支援・援助する仕組みである。

1.スポンサーシップの役割

院内・部署内の説明・ガイド、年間スケジュール、1日の業務の流れ、詰所会・チーム会について、各マニュアルについて、臨床実践能力達成度教育について、その他相談役等を果たす。

2.スポンサーシップの期間

原則的に夜勤独り立ちが終わり、慣れた頃を目途とする。

I.中途採用看護師研修目的

組織の一員であることを認識し、新たな職場環境に適応し、キャリアを継続できるよう支援する。

II.中途採用看護師研修目標

- 1.病院・看護部の理念・概要を理解する
- 2.医療チームの一員として期待される役割を認識し、行動する
- 3.安全な看護ケアを提供できるように、必要な知識・技術を再学習し、実践する

III.中途採用者教育研修ガイダンス

研修内容、日程は、看護師経験度等によって計画する。

テーマ	内 容	所要時間
看護部の概要	* 済生会御所病院看護部理念・方針・活動について、 専門職業人について * 看護協会・看護連盟について	2.0 時間
看護部教育について	* 済生会御所病院看護部の教育方針・教育計画について	1.0 時間
社会人規範	* 済生会御所病院の職員としての 社会人のルールとは 必要な接遇とは 個人情報とは	2.0 時間
看護倫理	* 看護倫理とは * 倫理綱領について	0.5 時間
医療安全	* 済生会御所病院の医療安全対策について	1.0 時間
感染対策	* 感染対策の基本 * 手洗いの方法 * マスクの着用方法等	1.0 時間
看護業務規程	* 看護業務基準、マニュアルについて * 看護必要度について	1.0 時間
看護技術実習	* 必要に応じて計画する	

平成 30 年度 済生会御所病院 新人看護師研修ガイドラインの基本的な考え方

I. 新人看護職員研修の理念

- 1)看護は人間の生命に深く関る職業であり、患者の生命、人格及び人権を尊重することを基本とし、生涯にわたって研鑽されるべきものである。新人看護職員研修は、看護実践の基礎を形成するものとして重要な意義を持つ
- 2)新人看護職員を支えるためには、周囲のスタッフだけでなく、全職員が新人看護職員に関心をもち、皆で育てるという組織文化をつくりあげる。また、新人看護職員を支援し、周りの全職員が共に全職員が共に支え合い、成長することを目指す。

II. 新人看護師基本方針

- 1)新人看護職員が基礎教育で学んだことを土台に、新人看護職員研修で臨床実践能力を高め、生涯にわたって経験し、獲得したことを蓄積し、自己研鑽することを目指す。
- 2)医療における安全の確保及び質の高い看護の提供は重要な課題である。安全で安心な療養環境を保証するため、当院は組織的に職員の研修に取り組み、新人看護職員研修はその一環として位置付ける。
- 3)新人看護職員研修は、基礎看護教育では学習する事が困難な医療チーム内で複数の患者を受け持ち、多重課題を抱えながら、看護を安全に提供するために臨床実践を強化することを主眼におく。
- 4)専門職業人として成長するためには、新人看護職員自らがたゆまぬ努力を重ねるべきであることはいままでもないが、新人の時期から生涯にわたり、継続的に自己研鑽を積む事ができる実効性のある運営体制や研修支援体制を整備する。実際には、看護師継続教育は臨床看護実践能力達成度別教育システムを導入し、その初段階として、新人看護職員研修を計画する。
- 5)医療状況の変化や看護に対する患者・家族のニーズに柔軟に対応するために、新人看護職員研修は毎年見直していく。

III. 新人看護師教育研修体制

- 1)新人看護職員を支える体制
 - ①病院管理者、看護管理者は、当院の理念や基本方針に基づいた新人看護職員研修が実施できる体制の構築に責任を持つ。また、理念や基本方針を研修に携わる職員全員と共有する。
 - ②新人看護職員研修は、所属部署の直接の指導者だけでなく、部署スタッフ全員が新人看護職員を見守り、サポート体制を構築する。そして、新人看護職員が看護の素晴らしさを実感し、看護に対する誇りを持てるように、実地指導者がモデルとなる。
 - ③新人看護職員が臨床現場に順応し、臨床実践能力を獲得するためには根気強くあたたかい支援が必要である。また、新人看護職員の不安を緩和するために、職場適応のサポートやメンタルサポートの体制を作るために、新人看護職員を周りで支えるための役割を持つ人員の体制作りをする。
 - ④新人看護職員研修は、病院全体で取り組み、共通する研修内容等は、医師や薬剤師等の新人職員との合同で研修を行う。また専門的な知識・技術を有する職員を新人看護職員研修に参画させる。そして病院の他職種との連携を密にとり、新人看護職員が他職種の業務を理解するための機会を計画する。
- 2)研修における組織体制とその役割
 - ①新人看護職員
 - ・免許取得後に初めて就労する看護職員のこと。
 - ・自立して個人の今後の目標を定め、主体的に参加することができる。
 - ②プリセプター
 - ・新人看護職員の精神的な悩みを聞き、相談役としての役割を担う。
 - ・看護実践経験の近い者が担当する。
 - ・実地指導者と協力し合い、新人看護職員を支えていく。メンタルサポートに主眼をおく。
 - ・新人看護職員 1 名に対して、1 名を配置する。
 - ③実地指導者
 - ・新人看護職員に対して、臨床実践に関する実地指導・評価等を行う者である。
 - ・看護職員として必要な基本的知識・技術・態度を有し、教育的指導ができる者であることが望ましい。

・実地指導者の配置は、新人看護職員に対して継続的に指導を行い、複数(4～5名)を配置する。

④新人教育担当者

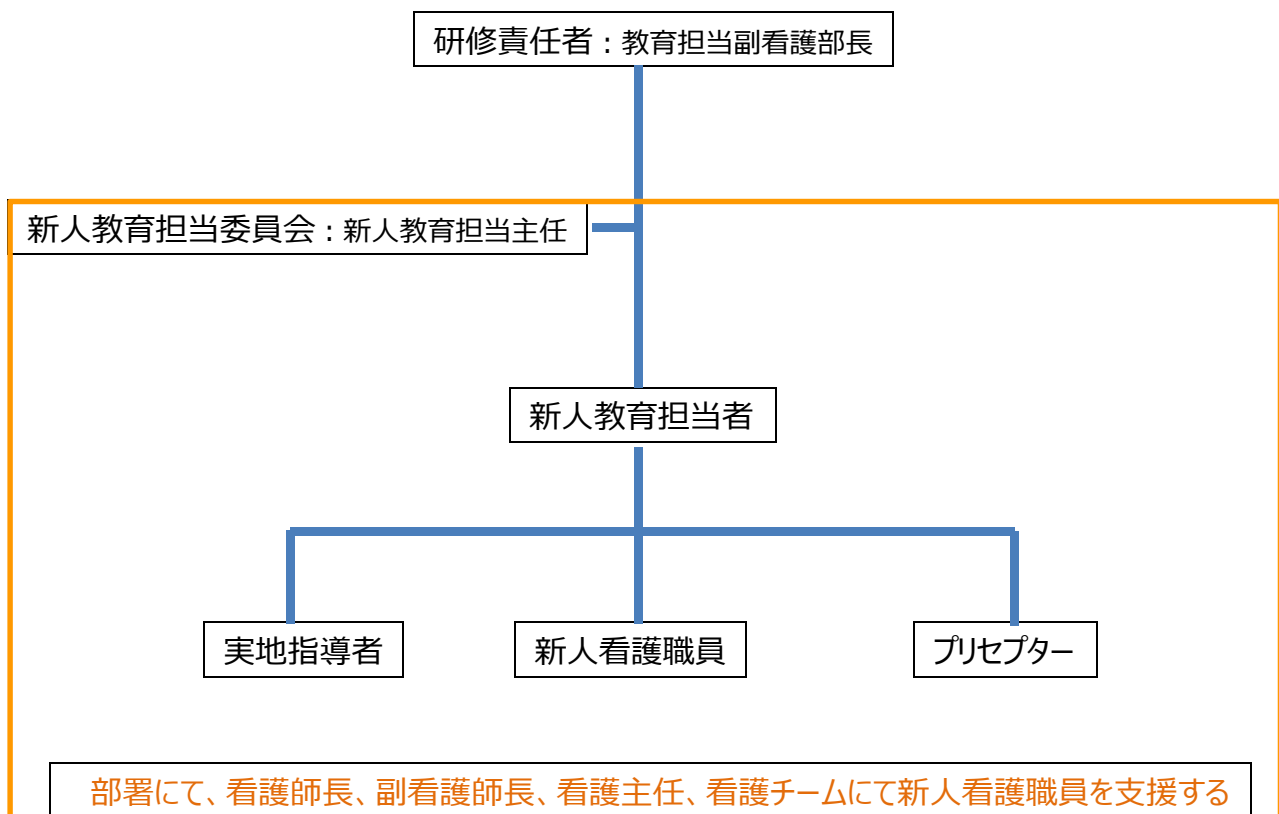
- ・看護部門の新人看護職員の教育方針に基づき、各部門で実施される研修の企画・運営を中心となって行う者であり、実地指導者への助言及び指導、または新人看護職員へ指導・評価を行う。
- ・看護職員の模範となる臨床実践能力をもち、チームリーダーとしての調整能力を有し、教育的役割を發揮できる者とする。
- ・プリセプターと情報を共有し、メンタルサポートを行う。
- ・新人教育担当者は、各部署1名とする。複数の実地指導者の中から1名に任命する。

⑤新人教育担当者委員会：新人教育担当主任

- ・研修プログラムの策定、企画及び運営を行うための委員会であり、研修責任者の元に設置する。
- ・施設間や職場間の連携を行い、最適な研修方法や研修内容について具体的に検討を行う。
- ・新人教育担当主任が指導・教育の立場から参加する。

⑥研修責任者：教育担当副看護部長

- ・病院及び看護部の教育方針に基づき、新人教育担当者は実地指導者及びプリセプターの研修プログラムの策定、企画及び運営に対する指導及び助言を行う。
- ・研修の企画・運営・実施・評価もすべての過程においての責任者である。
- ・各部署の管理者と連携を図りつつ、新人教育担当者の支援を行い、部署間の調整を含め、新人看護職員研修全体を把握する
- ・新人教育担当者と連絡をとり、メンタルサポートを行う。
- ・他施設と連携し、研修会を実施する場合は、施設間の調整役となる。
- ・研修計画、研修プログラムの策定において、様々な意見や課題を集約し、件数の結果を評価する能力や、研修の運営において問題解決及び状況に合せた新たな研修計画を策定していく能力が求められる。
- ・研修責任者は1名、おく。



平成 30 年度 済生会御所病院 卒後看護師臨床研修 新人看護師研修制度

看護基礎教育施設を卒業した新人看護師が、臨床現場において持ち得る看護知識を活用し実践能力を発揮できるように、研修期間を設ける。

I. 新人看護師教育目標

1. 日常生活援助のための専門的知識、技術、態度を修得し、安全で確実な看護実践ができる。
2. チームメンバーの一員として、配属部署における役割と責任を果たすことができる。
3. 社会人、組織人、専門職業人として、責任のある行動がとれる。

II. 卒後看護師臨床研修 目的

2カ月の研修期間中に ①看護知識と看護技術の確認 ②不足している看護技術と看護技術を追加習得できるよう研修を行う。その結果、臨床看護実践能力を養い、患者・家族へ安全で安心な療養環境を整え、医療を提供する力を習得し、スムーズに臨床現場に適応することを目的とする。

III. 卒後看護師臨床研修 目標

1. 基礎看護技術を習得し、患者の特性に配慮した実践ができる
 - ① 2カ月のローテーション期間において、基礎看護技術を指導者のもとで実践する
 - ② 患者・家族の訴えからニーズや要望に配慮した技術の提供を検討できる
 - ③ 基礎看護技術の復習や標準的な看護手順を理解するために積極的に研修に参加する
 - ④ 基礎看護技術の習得に向けて、チェック表を活用する
2. 段階的な学習の実施や同僚とのコミュニケーションを通して、臨床現場に適応できる
 - ① 段階的な学習を計画して、取り組むことができる
 - ② 社会人としての礼節を身につけ、コミュニケーション力を高める
 - ③ 困難なこと、不安なことを言葉にして伝える
 - ④ ストレスに対する自分の反応を知る
3. 済生会御所病院の役割や特徴を理解し、病院における看護師の役割を考えて実践できる
 - ① 2カ月のローテーション期間において、各部署の特徴や役割を知る
 - ② 配属部署の特徴に応じて、患者・家族のニーズを充足した看護ケアを実践する
 - ③ 患者・家族との関係作りの重要性を理解する
 - ④ 病院内で働く職種 of 役割を知り、協働する大切さを知る
 - ⑤ チーム医療の構成員としての看護師の役割を理解する
 - ⑥ 看護者の倫理綱領や済生会御所病院「患者さまの権利」をもとに行動できる

IV. 卒後看護師臨床研修 特徴

1. ローテーション研修と集合研修を組み合わせた研修システム

- 4月初旬の集合研修が終了後は、配属部署を決めずに4月～5月の2カ月間は「臨床研修看護師」として、病棟を4カ所ローテーションする。到達目標を【ステップ】ごとに提示し、段階を経てステップできるように取り組む。
- 日勤研修は、8時30分から16時30分までの勤務時間帯で行う。
- 夜勤研修は、ステップ4の病棟で16時30分から翌朝8時30分までの二交替勤務時間帯で1回実施する。シャドーイングで見学中心の研修を行う。
- 早出研修はステップ2の病棟で7時00分から15時00分、遅出研修はステップ3の病棟で12時00分から20時00分の変則勤務時間帯で、各1回以上実施する。
1回目はシャドーイングで見学中心に行い、2回目以降は指導者の指導のもとに研修を行う。

- 毎日、日常生活援助や診療補助技術に関する集合研修を行う。
 - 毎2・4土曜、日曜、祝日はそのまま休日となる。
 - ローテーション部署を変更する前に集合研修を実施し、知識・技術を再確認すると共に、各ステップにおける目標到達の振り返りと評価を行い、交流・意見交換の場を持つ。
- 2.新人看護師として看護実践に必要な基本的な知識・技術・態度を育成する教育システム
- 部署内でのプリセプター・シップを導入している。プリセプターが年間を通じて相談役として1名担当する。
日々の現場では部署のすべての看護師が指導者として新人看護師に関わり、新人看護師を育てる環境を作る。
 - 年間を通じて、臨床実践能力達成度教育研修、専門分野教育研修をする。
 - 年間を通じて、定期的にフォローアップ研修をする。

V.ローテーション研修とは

- ローテーション毎に到達目標を設定、研修部署が違っていても、全員が同じ時期に【ステップ1】～【ステップ5】の同じ段階を踏んで、同じ目標に向かって取り組めるようにする。
- 【ステップ1：前期ローテーション①】
- 1.部署の特徴や役割を知る
 - 2.看護職員の役割を知る
 - 3.基礎看護技術を指導者のもとで見学、経験する
 - 4.社会人としての礼節を身につける
 - 5.同期の同僚との関係づくりができる
- 【ステップ2：前期ローテーション②】
- 1.指導者のもとで、基礎看護技術を繰り返し実践する
 - 2.指導者のもとで、患者1名を担当し、看護業務を実践する
 - 3.指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する
 - 4.病院組織としての看護業務の連携・しくみがわかる
 - 5.看護業務における医療安全のしくみを理解する
 - 6.早出研修に臨み、早出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る
- 【ステップ3・4：前期ローテーション③・④】
- 1.患者の状態観察を行い、状況に合った根拠のある手順で看護技術を提供する
技術だけでなく、患者への配慮を学びながら実践する
 - 2.指導者のもとで、優先順位を考慮しながら2名の患者を担当して看護業務を実践する
 - 3.指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する
 - 4.医療安全を意識して、チームメンバーと連携して看護実践する
 - 5.ローテーション③で遅出研修、ローテーション④で夜勤研修に臨み、各勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る
 - 6.研修を通じて、自己の課題を認識する
- 【ステップ5：後期ローテーション】
- 1.クリティカルケア領域における体験を通して得た看護知識と看護技術を自部署における看護展開に活用できる
 - 2.自己の看護を振り返り、今後の課題を見出す
 - 3.自己の看護の視点を広げる
 - 4.自部署とどのように関連しているか理解する
- 各部署の特殊性や特徴を学ぶ。
 - 各部署での研修成果を評価・確認していくために、新人看護師技術チェックリストを指導者と共に到達度の確認、次の課題を確認しながら、知識・技術・態度を身につけていく。
 - 各ローテーション終了時に研修実施用紙および評価表を記入し、指導担当者に提出する。

- 6月には、研修成果で臨床実践能力を身につけた新人看護師を各部署に配属する。
- 病棟以外の外来・化学療法室・透析室・手術室・内視鏡室・救急室は後期ローテーション(11月に1日間)で希望部署の研修をする。

VI.集合研修とは

1.入職時の集合研修：4月2日～4月9日

●全入職者対象研修

- ・病院の理念・沿革・就業規則などの説明を受け、まずは「社会人としての自覚」を持つ研修からスタートする。
- ・医療安全・院内感染対策・医療倫理、コミュニケーション研修やマナー研修などを学ぶ。

●看護部研修

- ・看護部の紹介に始まり、研修制度、看護記録・看護業務・看護必要度について学ぶ。
- ・看護技術演習を行い、ビジュアルナーシングメソッドでの手順の確認と実技を行う。

新人教育担当委員、教育研修委員、認定看護師、副看護師長、看護主任、臨床工学士などが研修講師・タスクを担当する。

- 環境調整技術：環境調整、ベッドメイキング、シーツ交換
- 食事援助技術：食事介助、経鼻胃管からの栄養法、胃瘻からの栄養法
- 排泄援助技術：排尿介助、排便介助、膀胱留置カテーテルの挿入・抜去、浣腸、摘便
- 活動・休息援助技術：移送、移乗、体位変換
- 清潔・衣生活援助技術
 - ：全身清拭、洗髪、口腔ケア、入浴介助、陰部洗浄、手浴、足浴、おむつ交換、寝衣交換
- 呼吸・循環を整える技術：酸素吸入、吸引、吸入
- 創傷管理技術：包帯法、褥瘡処置、創傷処置
- 与薬の技術
 - ：経口、経皮、口腔内、点眼、点耳、点鼻、直腸内、吸入、注射、輸液ポンプ、輸血、麻薬
- 救命救急処置技術
 - ：意識レベル、BLS、バックバルブマスク・ジャクソンリースの使用法、AED、気管挿管
- 症状・生体機能管理技術
 - ：脈拍、体温、血圧、瞳孔、呼吸、採血、検体採取、培養検査、血糖値測定、12心電図検査、心電図モニタ装着・管理、パルスオキシメータ、身長、体重、胸囲、腹囲
- 苦痛の緩和・安楽確保の技術：安楽な体位、冷罨法、温罨法
- 感染予防技術
 - ：手洗い、手指消毒、個人防護用具の着脱、N95マスクの着脱、滅菌手袋・ガウン、滅菌物の取扱い、感染性廃棄物の取扱い、針刺し防止策・対応
- 安全確保の技術
 - ：誤薬防止、患者誤認防止策、患者・部位・手技名誤認防止、転倒転落防止策、薬剤曝露防止、放射線被曝の防止
- 死亡時のケア：死後のケア

新人看護師 入職時集合研修日程一覧表

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月2日 (月) 1日目	8:30~9:00 0.5H	辞令交付	・辞令交付 ・院長挨拶	第3会議室	院長 総務課
	9:00~9:30 0.5H	経理課からの説明	・病院規程について ・書類手続きについて	第3会議室	経理課
	9:40~10:40 1.0H	済生会の歴史について 社会人規範	・済生会の歴史、役割、使命について ・専門職業人とは ・済生会御所病院の求める職員とは ・人事考課について	第3会議室	有野 事務次長
	10:50~11:20 0.5H	看護部について	・看護職員としての基本姿勢、看護体制 ・ハラスメントとは、院内の取り組み ・看護協会の役割、看護連盟の役割	第3会議室	看護部長
	11:30~12:00 0.5H	看護業務について	・看護業務基準 ・院内の業務基準マニュアルについて	第3会議室	業務担当 梅田看護師長
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~13:30 0.5H	看護部の教育体制について	・当院の教育体制 ・新人教育研修内容について	第3会議室	教育担当 副看護部長
	13:30~14:00 0.5H	看護倫理について	看護者の倫理綱領	第3会議室	教育委員会
	14:00~15:00 1.0H	医療安全について	・医療安全とは ・医療安全対策について ・インシデントレポート、ヒヤリハットとは ・インシデントレポートについて ・インシデントレポート記入方法について	第3会議室	リスク担当 中川看護師長
	15:10~16:10 1.0H	◆KYTの本当の意義とは ◆KYTを実践してみよう 学研メディカルサポート 視聴 60分		第3会議室	教育担当 副看護部長
	16:15~16:30	各責任者の紹介		第3会議室	教育担当 副看護部長

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月3日 (火) 2日目	8:30~10:00 1.5H	看護技術演習①	看護支援システムについて	第3会議室	新人教育 担当者
	10:00~11:00 1.0H	看護記録について	・看護記録とは ・記録の方法 ・記録マニュアルについて	第3会議室	主任会
	11:00~12:00 1.0H	看護必要度について	・看護必要度とは ・必要度の記録について	第3会議室	主任会
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~15:00 2.0H	感染対策	◆これだけは覚えておきたい！スタンダード プリコーション(標準予防策) ～医療従事者に必要な感染対策の 基礎知識～	第3会議室	感染管理 認定看護師 飯田賢人

			学研メディカルサポート 視聴 30分		
			◆講義・演習 ・感染対策の基礎 ・感染予防技術		
	15:10～15:30 0.5H	接遇マナー	ナーシングマナー総論：DVD	第3会議室	教育担当 副看護部長
	15:30～16:15 0.9H	病院内の仕組み 院内見学	・外来患者の流れ ・入院患者の流れ ・院内見学	第3会議室	新人教育 担当者
	16:20～16:30	本日の確認、振り返り		第3会議室	教育担当 副看護部長

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者	
4月4日 (水) 3日目	8:30～9:15 0.75H	看護コミュニケーションについて	看護師資格は一生懸命に～今を大切に 生きることの積み重ねがキャリアをつくる～ 学研メディカルサポート 視聴 45分	第3会議室	教育担当 副看護部長	
	9:15～10:00 0.75H	個人情報の取扱い	・個人情報保護法について ・病院で扱う情報の取扱いについて	第3会議室	田中 事務次長	
	10:00～12:00 2.0H	看護技術演習② 症状・生体機能 管理技術 ビジュアルナーシングメ ソッドで手順確認実技	◆バイタルでここまでわかる 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	新人教育 担当者	
			◆バイタルサイン測定 ・脈拍測定 ・動脈触知（頸部、上肢、下肢） ・体温測定（腋窩、鼓膜） ・血圧測定（電子血圧計、下肢） ・瞳孔評価 ・呼吸回数、呼吸音聴取 ・パルスオキシメータによる測定			
	12:00～13:00	昼食休憩				
	13:00～14:00 1.0H	医療ガスの取扱い	・酸素配管の取扱い ・ボンベの取扱い	第3会議室	大丸 エナウィン	
	14:15～16:30 2.0H	看護技術演習③ 呼吸を整える技術 ビジュアルナーシングメ ソッドで手順確認実技	◆安全な吸引・排痰を行うための手技と コツ 学研メディカルサポート 視聴 47分	第3会議室	新人教育 担当者	
◆酸素吸入 ・鼻カニューレによる酸素吸入 ・簡易酸素マスクによる酸素吸入 ・ネブライザー機能付き酸素吸入器による 酸素吸入 ・酸素ボンベからの酸素吸入 ◆吸引 ・口腔内・鼻腔内吸引 ・気管切開患者の開放式吸引 ・挿管患者の開放式吸引、閉鎖式吸引						

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月5日 (木)	8:30~9:10 1.0H	褥瘡を予防する ～発生要因の理解とアセスメント		第3会議室	教育担当 副看護部長
4日目	9:20~10:20 1.0H	スキンケア	・スキンケアとは ・スキンケアの基礎知識	第3会議室	皮膚排泄ケア 認定看護師 前川和世
	10:30~12:00 1.5H	看護技術演習④ 活動・休息援助 技術、苦痛緩和・ 安楽確保の技術 ビジュアルナーシングメ ソッドで手順確認実技	◆体位変換 ・左右移動 ・上下移動 ・仰臥位から側臥位 ・側臥位から端座位 ◆安楽な体位介助	演習ルーム	皮膚排泄ケア 認定看護師 前川和世 新人教育 担当者
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~14:00 1.0H	こんなところで転倒・転落!?あなたならどうする ～素早い初期対応のために～		第3会議室	教育担当 副看護部長
	14:00~16:30 2.5H	看護技術演習⑤ 活動・休息援助 技術 ビジュアルナーシングメ ソッドで手順確認実技	・歩行介助 ・車いすへの移乗、移送 ・ストレッチャーへの移乗、移送	第3会議室 演習ルーム	理学療法士 新人教育 担当者

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月6日 (金)	8:30~9:30 1.0H	1秒でもはやくあなたができる急変対応 ～手技・連絡・応援～		第3会議室	教育担当 副看護部長
5日目	9:30~10:50 1.5H	看護技術演習⑥ 救命救急処置 技術 ビジュアルナーシングメ ソッドで手順確認実技	・意識レベルの把握 ・一次救命処置 ・バックバルブマスクの使用法 ・ジャクソンリースの使用法 ・AEDの使用法 ・気管挿管の準備と介助 ・止血法 ・チームメンバーへの応援要請	第3会議室	救急看護 認定看護師 永井由紀 新人教育 担当者
	11:00~12:00 1.0H	静脈注射に関する 継続看護①	「解剖生理学」と「エビデンス」から 採血を学ぶ～動画で学ぼう～ 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	教育担当 副看護部長
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~15:00 2.0H	看護技術演習⑦ 与薬の準備 与薬の技術 ビジュアルナーシングメ ソッドで手順確認実技	・経口与薬 ・経皮与薬 ・口腔内与薬 ・点眼 ・点耳 ・点鼻	第3会議室 演習ルーム	新人教育 担当者

			<ul style="list-style-type: none"> ◆準備 ・アンプル・バイアルからの薬液の吸い上げ ・ミキシング・プライミング 		
			<ul style="list-style-type: none"> ◆注射種類別内容 ・皮下注射 ・筋肉内注射 ・皮内注射 ・インスリン注射（専用シリンジ、ペン型） ・静脈内注射（ワンショット） ・点滴注射静脈内注射 ・三方活栓からの静脈内注射 ・三方活栓からの点滴静脈内注射 ・持続点滴注射 ・中心静脈カテーテル挿入の介助 		
	15:10～16:30 1.2H	静脈注射に関する 継続看護②	末梢静脈カテーテルの留置と管理 “超入門” 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室 演習ルーム	新人教育 担当者
		看護技術演習⑩ 症状・生体機能管 理技術 ビジュアルナーシングメ ソッドで手順確認実技	<ul style="list-style-type: none"> ・静脈採血（シリンジ、真空管） ・血液培養 ・咽頭培養 ・尿の採取 ・喀痰の採取（自力、吸引） ・動脈血採血の準備と検体の取扱い ・血糖採血、測定 		

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月7日 (土)	8:30～9:30 1.0H	嚥下障害のある患者のための食事介助 学研メディカルサポート 視聴 51分		第3会議室	教育担当 副看護部長
6日目	9:30～12:30 3.0H	看護技術演習⑧ 清潔・衣生活援助 ビジュアルナーシングメ ソッドで手順確認実技	<ul style="list-style-type: none"> ◆清潔 ・全身清拭 ・洗髪 ・臥床患者の口腔ケア ・挿管患者の口腔ケア ・義歯のある患者の口腔ケア ・入浴介助 ・シャワー浴介助 ・陰部洗浄 ・手浴 ・足浴 ◆衣生活 ・おむつ交換 ・シーツ交換 ・寝衣交換 	第3会議室 演習ルーム	新人教育 担当者

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月9日 (月) 7日目	8:30~9:30 1.0H	膀胱留置カテーテル挿入時感染の原因から対策まで ～これが CAUTI 予防の基本～ 学研メディカルサポート 視聴 50分		第3会議室	教育担当 副看護部長
	9:30~12:00 2.5H	看護技術演習⑨ 排泄援助技術 ビジュアルナーシングメソッドで手順確認実技	・臥床患者の排尿介助(男性、女性) ・臥床患者の排便介助(男性、女性) ・導尿 ・膀胱留置カテーテルの挿入 ・浣腸 ・摘便	第3会議室 演習ルーム	新人教育 担当者
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~15:00 1.0H	看護技術演習⑩ 食事援助技術 ビジュアルナーシングメソッドで手順確認実技	・間接的嚥下訓練 (嚥下体操、アイスマッサージ) ・安全な食事介助のための準備 ・食事介助 ・経鼻胃管からの栄養法 ・胃瘻からの栄養法	第3会議室 演習ルーム	新人教育 担当者
	15:10~16:00 1.0H	看護技術演習⑪ 苦痛の緩和・安楽確保の技術 ビジュアルナーシングメソッドで手順確認実技	・冷罨法 ・温罨法 ・リラクゼーション法	第3会議室 演習ルーム	新人教育 担当者
16:00~16:30	入職後、7日間の振り返り		第3会議室	教育担当 副看護部長 新人教育 担当者	

2. 看護部集合研修

- 臨床場面に必要性の高い知識や技術について時期を考慮して、再学習・修得できるよう研修をする。
- 入職後3ヵ月、6ヵ月時にカンファレンスを行い、不安や悩みを共有し解決を見出すために、意見交換・交流の時間としても活用する。
- 半年後には看護理論を用いた事例展開、その2ヵ月後には自部署の症例を用いた事例展開をし、発表会を設ける。

ローテーション中集合研修一覧表

前期ローテーション① 4月10日～4月20日					
日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月10日 (火)	13:00～ 13:30 0.5H	環境調整技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・病室の環境調整 ・ベッドメイキング ・臥床患者のシーツ交換	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月11日 (水)	13:00～ 13:30 0.5H	食事援助技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・間接嚥下訓練：嚥下体操 ・間接嚥下訓練：アイスマッサージ ・安全な食事介助のための準備 ・食事介助	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月12日 (木)	13:00～ 13:30 0.5H	食事援助技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・経鼻胃管からの栄養法 ・胃瘻からの栄養法 ・経腸栄養ポンプ	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月16日 (月)	13:00～ 13:30 0.5H	排泄介助技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・臥床患者の排泄介助 ・臥床患者の排便介助 ・導尿 ・膀胱留置カテーテルの挿入、管理、 抜去 ・浣腸 ・摘便	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月17日 (火)	13:00～ 13:30 0.5H	活動・休息援助技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・歩行介助 ・車いすへの移乗、移送 ・ストレッチャーへの移乗、移送 ・チューブ類の取扱い：移乗の場合	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月18日 (水)	13:00～ 13:30 0.5H	活動・休息援助技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・体位変換 ・チューブ類の取扱い ：体位変換の場合 ・廃用症候群予防 ・関節可動域訓練 ・入眠・睡眠の援助 ・体動・移動に必要な患者へ	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月19日 (木)	13:00～ 13:30 0.5H	清潔・衣生活援助技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・全身清拭 ・洗髪 ・口腔ケア ・入浴介助 ・シャワー浴介助 ・陰部洗浄	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月20日 (金)	13:00～ 13:30	前期ローテーション①の振り返り、意見交換		第3会議室	教育担当 副看護部長
4月21日 (土) 4.0H	8:30～ 11:20 3.0H	医療機器の取扱い①	・輸液ポンプの取扱いと管理 ・シリンジポンプの取扱いと管理 ・心電図モニタの取扱いと管理	第3会議室	臨床 工学技士
	11:30～ 12:30	医療機器の取扱い②	アラームが鳴ったらこうする！ 輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い方	第3会議室	教育担当 副看護部長

	1.0H		～トラブルから学ぼう～ 学研メディカルサポート 視聴 50分		
前期ローテーション② 4月23日～5月7日					
日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月23日 (月)	13:00～ 13:30 0.5H	清潔・衣生活援助技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・手浴 ・足浴 ・おむつ交換 ・寝衣交換 ・チューブ類の取扱い ・整容	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月24日 (火)	13:00～ 13:30 0.5H	呼吸・循環を整える技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・酸素吸入 ・吸引	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月25日 (水)	13:00～ 13:30 0.5H	呼吸・循環を整える技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・人工呼吸器の準備、管理 ・人工呼吸器の回路交換	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月26日 (木)	13:00～ 13:30 0.5H	呼吸・循環を整える技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・ネブライザーの実施 ・体位ドレナージ ・体温調整の基礎知識	第3会議室	教育担当 副看護部長
4月27日 (金)	13:00～ 13:30 0.5H	創傷管理技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・包帯法 ・褥瘡処置 ・創傷処置	第3会議室	教育担当 副看護部長
	16:45～ 17:45 1.0H	フィジカルアセスメント❶	呼吸器系のフィジカルアセスメント 学研メディカルサポート 視聴 47分	第3会議室	救急看護 認定看護師 永井由紀
5月1日 (火)	13:00～ 13:30 0.5H	与薬の技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・経口与薬 ・経皮与薬 ・口腔内与薬 ・点眼 ・点耳 ・点鼻 ・直腸内与薬	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月2日 (水)	13:00～ 13:30 0.5H	与薬の技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・吸入法 ・アンプル、バイアルの薬剤の吸い上げ ・ミキシング、プライミング ・皮下注射 ・筋肉内注射 ・皮内注射 ・インスリン注射	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月7日 (月)	13:00～ 13:30	前期ローテーション②の振り返り、意見交換 配属希望届の確認、提出：配属希望部署とその理由		第3会議室	教育担当 副看護部長
前期ローテーション③ 5月8日～5月18日					
日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
5月8日	13:00～	与薬の技術	・静脈内注射	第3会議室	教育担当

(火)	13:30 0.5H	ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・点滴静脈内注射 ・ヘパリンロック ・三方活栓からの静脈注射 ・中心静脈カテーテル挿入の準備・ 介助・管理		副看護部長
5月9日 (水)	13:00～ 13:30 0.5H	与薬の技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・輸液ポンプの使用、管理 ・シリンジポンプの使用、管理 ・輸血の準備、実施	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月10日 (木)	13:00～ 13:30 0.5H	与薬の技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・麻薬の理解と管理 ・特別な注意を要する薬剤の管理 ・抗菌薬の用法の理解と副作用観察 ・抗ウイルス薬等の用法の理解と 副作用の観察	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月11日 (金)	13:00～ 13:30 0.5H	救命救急処置技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・意識レベルの把握 ・一次救命処置 ・バックバルブマスクの使用法 ・ジャクソンリースの使用法	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月14日 (月)	13:00～ 13:30 0.5H	救命救急処置技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・AEDの使用法 ・気管挿管の準備と介助 ・止血法 ・チームメンバーへの応援要請	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月15日 (火)	13:00～ 13:30 0.5H	症状・生体機能管理技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・脈拍測定 ・動脈触知 ・体温測定	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月16日 (水)	13:00～ 13:30 0.5H	症状・生体機能管理技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・血圧測定 ・瞳孔評価 ・呼吸音の聴取	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月17日 (木)	13:00～ 13:30 0.5H	症状・生体機能管理技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・採血 ・血液培養 ・咽頭培養 ・胃液培養	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月18日 (金)	13:00～ 13:30 0.5H	症状・生体機能管理技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・尿の採取 ・喀痰採取 ・動脈血採血の準備と検体の取扱い ・血糖測定	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月19日 (土)	8:30～ 9:30 1.0H	医療機器の取扱い③	ここからスタート！ 心電図モニタとのつきあい方 学研メディカルサポート 視聴 43分	第3会議室	教育担当 副看護部長
	9:30～ 10:00 0.5H	先輩看護師のナラティブを 聞く	①西4階病棟 今西 梓 ②西3階病棟 西田 琴那 ③東4階病棟 近藤 誠	第3会議室	教育担当 副看護部長
	10:00～ 11:00 1.0H	静脈注射に関する 継続看護③	・処方箋の取扱い ・院内の薬剤について ・劇薬・毒薬・抗がん剤の取扱い	第3会議室	院内薬剤師

	11:10～ 11:50	小論文を書こう！	【テーマの例】 ・あなたをめざす看護とは ・あなたの看護観と10年後のあなた ・看護師として必要なこと	第3会議室	教育担当 副看護部長
	12:00～ 12:30	前期ローテーション③の振り返り、意見交換		第3会議室	教育担当 副看護部長

前期ローテーション④ 5月21日～5月31日

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
5月21日 (月)	13:00～ 13:30 0.5H	症状・生体機能管理技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・12 誘導心電図の装着と計測 ・心電図モニタの装着と管理 ・パルスオキシメータによる測定	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月22日 (火)	13:00～ 13:30 0.5H	症状・生体機能管理技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・身長測定 ・体重測定 ・胸囲測定 ・腹囲測定（立位、臥位） ・採尿・尿検査の方法と検体の 取り扱い	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月23日 (水)	13:00～ 13:30 0.5H	苦痛の緩和・安楽確保の 技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・安楽な体位の保持 ・冷罨法 ・温罨法 ・リラクゼーション法 ・精神的安寧を保つためのケア	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月24日 (木)	13:00～ 13:30 0.5H	感染予防技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・スタンダードプリコーションの考え方 ・手洗い ・手指消毒 ・个人防护用具の着脱 ・N95 マスクの着脱 ・滅菌手袋の装着 ・滅菌ガウンの着用	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月25日 (金)	13:00～ 13:30 0.5H	感染予防技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・滅菌物の取扱い ・清潔区域のつくりかた ・感染症廃棄物の取扱い ・針刺し防止と針刺し後の対応 ・洗浄・消毒・滅菌の取扱い	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月28日 (月)	13:00～ 13:30 0.5H	安全確保の技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・誤嚥防止 ・患者誤嚥防止策の実施 ・患者・部位・手技名の誤認防止に 関する手順 ・転倒転落防止策	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月29日 (火)	13:00～ 13:30 0.5H	安全確保の技術 ビジュアルナーシングメソッドで 手順確認・テスト	・薬剤曝露の防止 ・放射線被曝の防止	第3会議室	教育担当 副看護部長
5月30日 (水)	13:00～ 13:30	死亡時のケア ビジュアルナーシングメソッドで	死後のケア	第3会議室	教育担当 副看護部長

		手順確認・テスト		
5月31日 (木)	13:00~ 13:30	前期ローテーション④の振り返り、意見交換	第3会議室	教育担当 副看護部長

配属決定後集合研修一覧表

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
6月8日 (金)	16:45~17:45 1.0H	看護理論①	・看護理論とは ・看護理論と看護過程	第3会議室	副師長会
6月16日 (土)	8:30~11:20 3.0H	医療機器の取扱い④	・人工呼吸器の取扱いと管理 ・DCの取扱いと管理	第3会議室	臨床工学士
	11:30~12:30 1.0H	医療機器の取扱い⑤	人工呼吸器のファーストタッチ 看護のポイントとアラーム対応 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	教育担当 副看護部長
7月21日 (土)	8:30~9:30 1.0H	看護診断	・看護診断とは ・看護診断の基礎	第3会議室	主任会
	9:40~10:30 1.0H	静脈注射に関する 継続看護④	・麻薬の取扱いと管理 ・向精神薬の取扱いと管理	第3会議室	院内薬剤師
	10:35~11:35 1.0H	静脈注射に関する 継続看護⑤	よくある誤薬を防ぐ手順とハイリスク薬 の与薬時の注意点 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	教育担当 副看護部長
	11:45~12:30	3ヵ月カンファレンス レポート作成・提出	・担当部署配置されてからの振り返り ・今後の目標設定 ・個人レポート作成 ：看護師としての自分のありかた	第3会議室	新人教育 担当委員会
7月27日 (金)	13:00~13:30 0.5H	リスクマネジメント研修 ：レベルI対象	・リスクマネジメントについて ・事例を用いた検討会	第3会議室	リスクマネジメ ント研修会
	16:45~17:45 1.0H	フィジカルアセスメント②	フィジカルアセスメント：基礎編	第3会議室	救急看護 認定看護師 永井由紀
8月3日 (金)	13:00~13:30 0.5H	静脈注射に関する 継続看護⑥	与薬を安全に実施するために： DVD	第3会議室	教育担当 副看護部長
8月9日 (木)	16:45~17:45 1.0H	看護理論②	ナインゲール理論について	第3会議室	副師長会
10月6日 (土)	8:30~9:30 1.0H	NST 研修	・NSTとは ・NSTの基本的知識	第3会議室	NST 専門 療法士 竹川みゆき
	9:40~10:40 1.0H	地域連携室の役割	・地域連携室とは ・地域連携室の看護師の役割	第3会議室	地域連携室 看護師長
	10:50~12:30	6ヵ月カンファレンス 個人レポート作成提出	・6ヵ月間の振り返り ・今後の目標設定 ・個人レポート作成 ：患者・家族と私	第3会議室	新人教育 担当委員会
10月11日 (木)	16:45~17:45 1.0H	フィジカルアセスメント③	フィジカルアセスメント：実践編	第3会議室	救急看護 認定看護師

					永井由紀
11月1日 (木)	13:00~13:30 0.5H	静脈注射に関する 継続看護⑥	輸液トラブルの対処法	第3会議室	救急看護 認定看護師 永井由紀
11月8日 (木)	16:45~17:45 1.0H	看護理論③	理論を用いての看護展開	第3会議室	副師長会
11月30日 (金)	16:45~17:45 1.0H	フィジカルアセスメント④	臨床推論 ～ベッドサイドでどう進めるか～ 学研メディカルサポート 視聴 50分	第3会議室	救急看護 認定看護師 永井由紀
12月13日 (木)	16:45~17:45 1.0H	フォローアップ研修	多重課題トレーニング：DVD	第3会議室	教育担当 副看護部長
12月21日 (金)	13:00~13:30 0.5H	静脈注射に関する 継続看護⑦	輸血を安全に実施するために： DVD	第3会議室	教育担当 副看護部長
1月11日 (金)	16:45~17:45 1.0H	看護理論④	理論を用いての自部署の症例を 事例展開	第3会議室	副師長会
2月8日 (金)	13:00~13:30 0.5H	フォローアップ研修	エラーを防ぐコミュニケーション：DVD	第3会議室	教育担当 副看護部長
3月22日 (金)	13:00~13:30	1年カンファレンス	・1年間の振り返り ・今後の目標設定	第3会議室	新人教育 担当委員会

VII. 配属希望調査と配属先の決定

- 5月7日、配属を希望する部署名とその理由を記入、看護管理室に提出する。
- 5月25日、配属部署を発表する。
- 5月31日、2カ月のローテーション研修の振り返りを行う。
- 配属後は毎月の目標と振り返りシートを提出し、指導担当者、看護主任、副看護師長、看護師長から指導を受ける。

平成 30 年度 前期ローテーション① 研修実施用紙



新人看護職員名

研修先

前期ローテーション① 研修目標

1. 部署の特徴や役割を知る
2. 看護職員の役割を知る
3. 基礎看護技術を指導者のもとで見学、経験する
4. 社会人としての礼節を身につける
5. 同期の同僚との関係づくりができる

研修項目

- ・バイタルサインの測定、一般状態の観察
- ・基礎看護技術の見学、指導者の指導のもと実施、評価
 - ：環境整備、食事援助、排泄援助、活動・休息援助、清潔・衣生活援助、感染予防技術

振り返り

指導者コメント

平成 30 年度 前期ローテーション② 研修実施用紙

新人看護職員名

研修先

前期ローテーション② 研修目標

1. 指導者のもとで、基礎看護技術を繰り返し実践する
2. 指導者のもとで、患者 1 名を担当し、看護業務を実践する
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する
4. 病院組織としての看護業務の連携・しくみがわかる
5. 看護業務における医療安全のしくみを理解する
6. 早出研修に臨み、早出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る

研修項目

- ・バイタルサインの測定、一般状態の観察
- ・基礎看護技術の見学、指導者の指導のもと実施、評価
 - ：呼吸・循環を整える技術、与薬の技術

振り返り

指導者コメント

平成 30 年度 前期ローテーション③ 研修実施用紙

新人看護職員名

研修先

前期ローテーション③ 研修目標

1. 患者の状態観察を行い、状況に合った根拠のある手順で看護技術を提供する
技術だけでなく、患者への配慮を学びながら実践する
2. 指導者のもとで、優先順位を考慮しながら2名の患者を担当して看護業務を実践する
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する
4. 医療安全を意識して、チームメンバーと連携して看護実践する
5. 遅出研修に臨み、遅出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る
6. 研修を通じて、自己の課題を認識する

研修項目

- ・バイタルサインの測定、一般状態の観察
- ・基礎看護技術の見学、指導者の指導のもと実施、評価
：医療機器の取扱い(輸液ポンプ、シリンジポンプ、心電図モニタ)、検体の採取・取扱い

振り返り

指導者コメント

平成 30 年度 前期ローテーション④ 研修実施用紙

新人看護職員名

研修先

前期ローテーション④ 研修目標

1. 患者の状態観察を行い、状況に合った根拠のある手順で看護技術を提供する
技術だけでなく、患者への配慮を学びながら実践する
2. 指導者のもとで、優先順位を考慮しながら2名の患者を担当して看護業務を実践する
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する
4. 医療安全を意識して、チームメンバーと連携して看護実践する
5. 夜勤研修に臨み、夜勤帯の患者の状態と看護業務内容を知る
6. 研修を通じて、自己の課題を認識する

研修項目

- ・バイタルサインの測定、一般状態の観察
- ・基礎看護技術の見学、指導者の指導のもと実施、評価
：処方箋の取扱い、身長測定、体重測定、苦痛の緩和・安楽確保の技術、入院患者の取扱い、転棟患者の取扱い

振り返り

指導者コメント

平成 30 年度 後期ローテーション 研修実施用紙



新人看護職員名

研修先

研修日

後期ローテーション 研修目標

1. クリティカルケア領域における体験を通して、得た看護知識と看護技術を自部署における看護展開に活用できる
2. 自己の看護を振り返り、今後の課題を見出す
3. 自己の看護の視点を広げる

研修項目

振り返り

指導者コメント

平成 30 年度 () 月 目標と振り返りシート

新人看護職員名

()月の目標

目標を達成するための具体的行動

振り返り

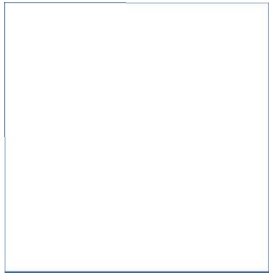
新人教育担当者コメント

主任コメント

副師長コメント

師長コメント

平成 30 年度 前期ローテーション評価表：目標



新人看護職員名

観点別評価	4：よくできる	3：できる	2：努力が必要	1：多くの努力が必要
評価項目	研修生	指導者		
前期ローテーション① 研修目標				
1. 部署の特徴や役割を知る				
2. 看護職員の役割を知る				
3. 基礎看護技術を指導者のもとで見学、経験する				
4. 社会人としての礼節を身につける				
5. 同期の同僚との関係づくりができる				
前期ローテーション② 研修目標				
1. 指導者のもとで、基礎看護技術を繰り返し実践する				
2. 指導者のもとで、患者 1 名を担当し、看護業務を実践する				
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する				
4. 病院組織としての看護業務の連携・しくみがわかる				
5. 看護業務における医療安全のしくみを理解する				
6. 早出研修に臨み、早出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る				
前期ローテーション③ 研修目標				
1. 患者の状況に合わせた看護技術を提供する				
2. 指導者のもとで、優先順位を考慮しながら 2 名の患者を担当して看護業務を実践する				
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する				
4. 医療安全を意識して、チームメンバーと連携して看護実践する				
5. 遅出研修に臨み、遅出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る				
6. 研修を通じて、自己の課題を認識する				
前期ローテーション④ 研修目標				
1. 患者の状況に合わせた看護技術を提供する				
2. 指導者のもとで、優先順位を考慮しながら 2 名の患者を担当して看護業務を実践する				
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する				
4. 医療安全を意識して、チームメンバーと連携して看護実践する				
5. 夜勤研修に臨み、夜勤帯の患者の状態と看護業務内容を知る				
6. 研修を通じて、自己の課題を認識する				
管理室評価				

平成 30 年度 前期ローテーション評価表：全般



新人看護職員名

観点別評価		4：よくできる	3：できる	2：努力が必要	1：多くの努力が必要			
観点	評価項目	集合	①	②	③	④	部長	
関心 意欲 態度	遅刻・欠勤なく自己の健康管理ができ、規律ある研修ができる							
	研修生として、ふさわしい身だしなみと言葉づかいができる							
	同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとることができる							
	自己評価及び他者評価を踏まえた学習課題を見つけることができる							
	基礎看護技術の知識をもち、手順を記述できる							
知識 理解	研修の目標・内容が理解できている							
	基礎看護技術の必要性の根拠を理解できる							
思考 判断 表現	患者のニーズを把握し、また一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接することができる							
	業務上の報告・連絡・相談を適切に行うことができる							
	コミュニケーションを通して患者との人間関係を築こうとしている							
	業務基準・手順に沿って基礎看護技術を実践することができる							
技能	患者の情報を看護記録から読み取ることができる							
	看護記録記載基準に沿って正確な看護記録が書くことができる							
	個人情報保護法に基づき、プライバシーを保護して医療情報や記録物を適切に取扱うことができる							

各指導者総評

①

指導者サイン ()

②

指導者サイン ()

③

指導者サイン ()

④

指導者サイン ()

管理室評価

サイン ()

配属部署

平成 30 年度 済生会御所病院 看護部教育・研修システム【看護補助者】

済生会御所病院看護部がめざす看護補助者教育実現のため、年間計画を立案、教育研修を行う。

学研ナースングサポート「eラーニングシステム：看護補助者コース」を利用し、看護補助者の成長に役立てる。

看護補助者教育目的

看護チームの一員として、患者が安全に安心して療養生活が送れるよう、責任をもって看護補助者の役割を果たすことができる人材を育成する

看護補助者教育目標

1. 組織・チームの一員として、役割を自覚し、責任ある行動ができる
2. 看護チームの一員として、安全に確実に業務が遂行できる
3. 看護チームの一員として、安全で安心な療養生活を整えることができる
4. 患者中心に行動でき、人間として尊厳を保障する姿勢を身につけることができる

看護補助者教育年間計画

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月17日(火) 4月20日(金)	14:30~15:00 15:00~15:30	医療制度の概要および病院の機能と組織の理解 ～e-ラーニング	・医療制度について ・医療機関について	第3 会議室	教育担当 副部長
5月15日(火) 5月18日(金)	14:30~15:00 15:00~15:30	チームの一員としての看護補助者業務の理解 ～e-ラーニング	・医療チームの機能と役割 ・看護補助者の業務	第3 会議室	教育担当 副部長
6月12日(火) 6月15日(金)	14:30~15:00 15:00~15:30	①守秘義務、個人情報保護の基礎知識 ②看護補助者のための倫理 ～e-ラーニング	①守秘義務について 個人情報保護について ②倫理とは 医療機関で働くうえでの倫理について	第3 会議室	教育担当 副部長
7月10日(火) 7月13日(金)	14:30~15:00 15:00~15:30	医療安全 ～e-ラーニング	・医療安全の基礎知識 ・事故防止の基本的な心構え ・事故発生時の対応	第3 会議室	教育担当 副部長
8月14日(火) 8月17日(金)	14:30~15:00 15:00~15:30	身体的拘束 身体的拘束を必要としない状態になるよう環境を整えること ～身体的拘束の基礎知識	・実施時のアセスメント ・患者・家族への説明と同意 ・具体的行為と記録 ・二次的な身体障害の予防 ・解除に向けた検討	第3 会議室	副師長会
9月11日(火) 9月14日(金)	14:30~15:00 15:00~15:30	環境整備 ～e-ラーニング	・入院・療養生活における 日常の環境整備 ・ベッドメイキング・リネン交換 の実際	第3 会議室	教育担当 副部長
10月9日(火) 10月12日(金)	14:30~15:00 15:00~15:30	清潔のお世話 ～e-ラーニング	・清潔のお世話とは ・ベッド上清拭のポイント ・洗髪を行う際のポイント	第3 会議室	教育担当 副部長
11月13日(火)	14:30~15:00	排泄のお世話	・排尿・排便の介助	第3	教育担当

11月16日(金)	15:00～15:30	～e-ラーニング	・おむつ交換	会議室	副部長
12月11日(火)	14:30～15:00	移動のお世話	・移動の意義	第3	教育担当
12月14日(金)	15:00～15:30	～e-ラーニング	・移送用具の種類 ・移送用具の使用方法 ・安全な移動方法 ・安全・安楽な移送方法	会議室	副部長

臨床実践能力別研修・専門分野別研修教育研修年間計画表一覧

	全体研修	新人研修	I	II	III	研究	IV	管理	補助者
4月	⑩⑬接遇① ⑰看護記録① ⑳地連①	⑥静脈①② ⑳医療機器①② ㉑フィジカル①	㉑フィジカル①	㉑フィジカル①	⑬看護管理①		⑬看護管理①	⑬看護管理① ⑳看護管理	⑰⑳医療制度
5月	①地連② ⑤⑧接遇② ⑮感染① ㉒診療報酬① ㉓診療報酬② ㉔診療報酬③	⑱医療機器③ 静脈③		⑪事例研究		⑧看護研究	⑳看護管理②	⑳看護管理① ㉑看護管理②	⑮⑱医療チーム
6月	①NST① ⑫看護記録② ⑭災害看護① ㉕周術期看護	⑧看護理論① ⑰医療機器④⑤	⑧看護理論①	⑤事例研究		未定 看護研究② 計画		㉖看護管理	⑫⑮守秘義務 倫理
7月	⑩⑫⑳㉖ 皮膚排泄ケア ⑰⑳倫理① ⑰認知症① ㉔メンタル ㉑NST②	㉑看護診断 静脈④⑤ ㉑リスク研修 フィジカル②	㉑リスク研修 フィジカル②	⑬学生指導 ㉑フィジカル②	⑬学生指導	未定 看護研究③ 中間		㉖看護管理	⑩⑬医療安全
8月	③周術期管理 ⑦⑨㉘㉙ 手術看護 ⑩看護必要度① ⑭⑰倫理② ⑭認知症② ㉔内視鏡	③静脈⑥ ⑨看護理論②	⑨看護理論②	⑳㉔ リスク研修				⑳看護管理④ ㉙看護管理	⑭⑰身体的拘束
9月	④⑥㉚㉗ 救急看護 ⑦看護必要度② ⑬周術期管理 ⑮⑱コミュニケ① ⑮認知症③ ⑲救急看護 ㉘地連③				⑭看護管理③		⑭看護管理③	⑭看護管理③ ㉗看護管理	⑪⑭環境整備
10月	⑨⑫ 看護必要度③ ㉘㉙コミュニケ② ㉕周術期管理 ㉑認知症④	⑥NST研修 地域連携 ⑪フィジカル③	⑪フィジカル③	⑪フィジカル③	②⑤ リスク研修	⑯看護研究		㉕看護管理	⑨⑫清潔
11月	②感染② ⑥⑧㉑㉒	①静脈⑦ ⑧看護理論③	⑧看護理論③ ㉑フィジカル④	㉑フィジカル④ ⑮事例研究		未定 看護研究④	㉑看護管理⑤	㉑看護管理⑤ ㉒	⑬⑯排泄

	感染看護 ⑨認知症⑤ ⑳看護診断 ㉑災害看護② ㉒NST⑤	⑳フィジカル④				まとめ		看護管理⑤	
12月	㉓ストマ管理 ㉔災害看護③ ㉕認知症⑥	㉖フォローアップ ㉗静脈③			⑭	看護管理⑥	④⑦ リスク研修 ⑭看護管理⑥	㉘看護管理⑥ ㉙看護管理	⑪⑭ 移動
1月	㉚コミュニケ③	㉛看護理論④	㉜看護理論④ ㉝実地指導者 研修	㉞事例研究 発表会				㉟看護管理	
2月		㊱フォローアップ				看護研究 発表会		㊲看護管理	
3月		㊳1年研修	㊴リポーター 研修					㊵看護管理	

済生会御所病院 看護部 平成 30 年度臨床実践能力別達成度編成 一覧表

済生会看護職員教育指針に則り、平成 28 年度より臨床実践能力達成度を 4 段階とし、専門教育部門として管理者コースを設定する。なお、レベル編成は「ベナーの理論的枠組み」を参考にレベルを決定している。

レベル	役割	内容	参加予定者
管理	<u>達人</u> * 病院単位で活動できる * 看護部長、副看護部長、 看護師長クラス * 専門職：認定、専門、その他	▶ 卓越した看護実践能力を有し、さらに病院内、 病院外において組織的に広範囲な役割を遂行 できる	
Ⅳ	<u>達人</u> * 看護部門単位で活動できる * 副看護師長、看護主任クラス	▶ 卓越した看護実践能力を有し、さらに看護部門に おいて組織的に広範囲な役割を遂行できる ▶ あらゆる場面で主体的に判断ができ、看護実践 および指導ができる ▶ 専門的知識・技術と判断力を持ち、倫理的態度 を統合し、看護実践ができる	
Ⅲ	<u>中堅</u> * 部署単位で活動できる * 看護実践の役割モデル * リーダーナース	▶ 優秀な看護実践能力有し、さらに所属において 組織的な役割を遂行できる ▶ 所属の臨床場面において、臨床の出来事を 分析的に捉えることができる ▶ 患者の状態が変化する状況下において、疾患や ライフワールドを捉えながら、分析し、看護実践 することができる	
Ⅱ	<u>一人前</u> * 自律して看護活動ができる * プライマリナース	▶ 看護実践能力を有し、所属の臨床場面において 的確な判断に伴う個別的な看護実践を一人前 に実践できる ▶ 指示待ちレベルから、自ら看護計画を立案、 実施、問題解決、評価することができる ▶ 患者の状態変化を察知し、対応することができる ▶ 理論的知識と臨床場面においての情報の関連 付けができる	
Ⅰ 新人	<u>新人、中途採用者</u> (経験年数による) * 指導や助言を得ながら看護 活動ができる * スタッフナース	▶ 職場の指導や教育を受けながら、看護基準・ 手順に沿って日常生活援助のための専門的 知識、技術、態度を身につけ、看護実践を確実 に実施できる ▶ 優先順位を設定し、所属の臨床場面において 安全に看護実践ができる ▶ 臨床の場面において、担当患者の看護実践を 通して、看護の知識・技術を深められる	

济生会御所病院 看護部 平成 30 年度臨床実践能力別達成度編成 一覽表

	管 理	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ・新人
管理室					
認定看護師室					
西 3 階					
西 4 階					
東 3 階					
東 4 階					
手術・救急 内視鏡・放科					
外来・化学療法					
透析室					
地域連携室					
数					

看護職員教育研修ガイドライン

目 次

P.1 済生会御所病院 看護部教育理念

P.1 済生会御所病院 看護部教育方針

P.1 済生会御所病院 看護部教育目的

P.1 済生会御所病院 看護部教育目標

P.2 済生会御所病院 看護部教育概念

● P.2 済生会御所病院 レベル編成

P.3 済生会御所病院 看護部教育・研修システム【看護師】

● P.3 1.院内研修会における担当委員会とその担当研修内容一覧表

● P.4 2.院内研修について

① 臨床実践能力達成度教育

①-1 臨床実践能力の構成要素 P.4

①-2 済生会御所病院 臨床実践能力達成度別到達目標 P.4

①-3 済生会御所病院 臨床実践能力達成度別到達目標と研修内容 P.6

①-4.臨床実践能力達成度別教育システム 年間計画 P.10

② 専門分野別教育システム 年間計画 P.12

● P.14 3. 院外研修について

P.14 済生会御所病院中途採用看護師研修中途採用看護師スポンサーシップ

～中途採用看護師研修目的、目標、ガイダンス、看護実践に関する確認シート

P.16 済生会御所病院 卒後看護師臨床研修 新人看護師研修制度

● P.16 新人看護師教育目標、目的、目標、特徴

- P.17 ローテーション研修とは
- P.18 集合研修とは
- P.19 新人看護師 入職時集合研修日程一覧表
- P.29 研修用紙、評価表

P.37 済生会御所病院 看護部教育・研修システム【看護補助者】

～看護補助者教育目的、目標、年間計画

P.38 臨床実践能力別研修・専門分野別研修教育研修年間計画表一覧

- P.39 臨床実践能力別研修・専門分野別研修一覧表【新人】
- P.40 臨床実践能力別研修・専門分野別研修一覧表【レベルⅠ】
- P.41 臨床実践能力別研修・専門分野別研修一覧表【レベルⅡ】
- P.42 臨床実践能力別研修・専門分野別研修一覧表【レベルⅢ】
- P.43 臨床実践能力別研修・専門分野別研修一覧表【研究】
- P.44 臨床実践能力別研修・専門分野別研修一覧表【レベルⅣ】
- P.45 臨床実践能力別研修・専門分野別研修一覧表【管理】

P.46 臨床実践能力達成度研修 評価表 レベルⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

済生会御所病院 看護部 平成 30 年度 新人教育担当者名簿

部署名	新人教育担当者	実地指導者	プリセプター
西 3 階病棟	古閑 博美 新井 沙也香	豊國 友子 岡本 未来	寺田 奈緒 谷川原 将平
西 4 階病棟	塚本 紗世 長野 唯	長野 唯 井上 衣 山本 朱実	坂口 春菜 寺岡 紫緒梨
東 3 階病棟	喜多 晴美 吉川 純子	蛭谷 亜矢 稲葉 佳津美	市川 陽菜 前中 照子
東 4 階病棟	仲本 光子 田路 富美	北西 菜保美 津森 彩奈	阪ノ上 佳代 永橋 祥地
手術室・放射線科 救急・内視鏡	倉本 康代 赤穂 拓美		石川 美奈

済生会御所病院 看護部 平成 29 年度 新人教育研修使用物品一覧

物品名称	数量
ディスポ注射針 18G	8本
ディスポ注射針 21G	8本
ディスポ翼状針 22G	8本
ディスポ留置針 21G	8本×3
ディスポ注射器 2.5ml	8本×2
ディスポ注射器 10ml	8本×2
輸液セット	8本
三方活栓付延長チューブ	8本
駆血帯	8本
ディスポ浣腸 60ml	8本
経鼻経管用輸液セット	1本
カテーテルチップ	1本
キシロカインゼリー	2本
膀胱留置カテーテルセット	8セット
ネラトンカテーテル 10Fr	8本
酸素カニユレ	1本
酸素マスク	1本
リザーバー付酸素マスク	1本
アクアパック	1個
ジャクソンリース	1セット
吸引チューブ 12Fr	8本×2
ディスポ手袋	1箱
ディスポエプロン	1箱
ディスポアルコール綿	1箱
ファイル	8セット×2
資料作成用コピー用紙 A4	1パック×2